

平成21年度

彩の国いきがい大学伊奈学園専科一期生

# 卒業記念文集



郷土を知るコース

## 専科「郷土を知るコース」一期生卒業記念文集発行に寄せて

いきがい大学伊奈学園に新設された3つの専科の内の「郷土を知るコース」に昨年の4月に入学して10ヶ月が過ぎ間もなく卒業を迎えます。

何を書こうかと大いに迷いました。

そこで学園に登校した日のノートを開いて見ました、齋藤課長、山司さん、安藤さん、宮野さん、金子さんのそれぞれの任務分担が書かれ、ホームルーム担当の山司さんの8名1班として自治会の役員を各班1名選任するようにと書かれおり、氏家所長が挨拶の中で「ホームページ」「イナヴォイス」についてとコースは45名定員のところ40名が合格した旨のメモ書きに続き、40名の自己紹介の要旨が記載され、学生番号の順に、住所、趣味、加入したいクラブ等について・・・「相場」・桶川・ゴルフ・ボーリング 「浅見」西区三橋・後はよく聞こえず 「天谷」60歳・鴻巣・旅行 「有村」桶川・ゴルフ 「安藤」南浦和・65歳・設計士 「伊藤」西区・ゴルフ 「今村」南中丸・浦和校卒業・朗読希望というように皆さんの自己紹介要旨が2ページに殴り書きの状態に記載されており趣味ではゴルフ、旅行、登山、社交ダンス等が多く、いきがい大学の他校の卒業生も15名程おりました。

5月12日の欄では3班の役員を決める「あみだクジ」が2組書かれ理事に私が、イナヴォイス委員に齋藤定男さんと両齋藤が当たりを引いておりました。

このクジがもとでコースの代表を引き受けなければならなくなり、どの様に皆さんの気持ちを1つにして楽しく活動できるか悩みながらの毎日でしたが、皆さんの協力とアドバイスにより何とかこれまで無事に代表を務めさせていただきました。

全員で舞台上がり参加した学園祭、富岡製糸工場への社会見学、自主企画による喜多院、市立博物館等の小江戸川越への社会見学、伊奈学園での各方面の先生による授業等楽しく充実した学園生活を送らせていただきました。

残念なのは「堀北 高さん」が体調不良等により途中退校し40名での卒業が出来ないことです。

残り少ない授業となりましたが、39名無事に笑顔で卒業出来る事を祈念いたします。

卒業後も伊奈学園専科1期「郷土を知るコース」の仲間として、これからも仲良くお付き合いをお願い致します。

この文集を出すに当たり「岡村さん」をはじめ各班の担当者にご努力いただき心から深謝いたします。

平成22年2月

彩の国いきがい大学伊奈学園専科1期生  
郷土を知るコース科長 齋藤 千照(晃)

## 目 次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ご挨拶 彩の国いきがい大学伊奈学園専科郷土を知るコース科長 斉藤 晃 |    |
| 1 班 .....                          | 5  |
| 2 班 .....                          | 11 |
| 3 班 .....                          | 17 |
| 4 班 .....                          | 23 |
| 5 班 .....                          | 29 |
| クラブ活動等案内 .....                     | 35 |
| グラウンドゴルフ .....                     | 37 |
| 卓 球.....                           | 39 |
| 墨 彩.....                           | 40 |
| 朗 読.....                           | 41 |
| 太極拳.....                           | 42 |
| 陶 芸.....                           | 44 |
| パソコン .....                         | 45 |
| 囲 碁.....                           | 52 |
| 中山道ウォーク .....                      | 53 |
| その他(講座日程・学園祭りプログラム・役員等).....       | 54 |
| 編集後記 .....                         | 69 |

# 1 班の紹介

「横糸の会」 結成！

## 掛け替えのない人生を美しく織り上げるために

己丑歳の卯月に、出席番号 No. 1 から No.8 までの八人が、偶然の、しかし強い縁で結ばれた。

それぞれの人生を縦糸とするならば、伊奈学園での結びつきを横糸としてお互い協力して豊かな人生を織りなしていこうという天谷さんの提言で「横糸の会」は発足した。事ある毎にアルコール燃料を補給しながら反物を織ってきているが、縦糸に比べ、横糸はまだまだ不十分なので、掛け替えのない反物とする為に卒業後も結束をしていこうと誓い合っている八名である。

以下に、文芸春秋巻頭の「同級生交歓」を真似て個人寸評を安藤の独断で記す。失礼段乞許。  
相場さん：経営者としての豊富な経験に基づく大所高所からの判断力、人間力は秀逸かつ垂涎。  
浅見さん：周囲に居る人達を明るく照らし出す LED 電球の如き存在感は、お見事なり！の一言。  
天谷さん：中山道踏査サークルの企画、運営力が人柄の深さを示し、突進力は壮年ファイター。  
有村さん：どんな人間も拒まず、優しく包み込んでしまう包容力の大きさ、凄さは万人の手本。  
伊藤さん：プレー数が年間百日を超える鉄人ゴルファーと大和撫子が見事に共存する希有な例。  
今村さん：昼は謹厳実直、夜は？。能ある鷹は爪隠すと言う格言を体現している見事な存在感。  
岩松さん：察しの精神、他人への思いやりは天下一品。最近、巷で流行る歴女の草分け的存在。  
安藤班長：皆様から貴重な教訓を頂戴し、今まで未使用だった脳みそをフル回転し再生特訓中。



## 01番 相場 恒夫

皆さん、こんにちは！ 卒業にあたって今の僕の気持を書きたいと思います。私は五十歳を過ぎた頃、(毎日が生き生きと、、、)と、いう事を自分の人生のテーマと致しました。そして、その姿勢を自分と相手の方が意識出来るようにと、自分の名刺に書き込みました。とても難しいテーマですが、はっきりとした目標を持つことが、毎日楽しく生き生きと生活出来る事であると考え、六十歳の自分の姿を想像しました。その目標は、六十歳から楽しく過ごす為の暇とお金と健康そして友達を沢山つくる事でした。強く思う事で、この目標は、ほぼ達成できました。現在六十二歳、今の目標は、七十歳までに、今迄出来なかった事、知らなかった事を出来るだけ多く体験して、人間としての幅を少しでも広げられたらと考えています。そういう意味で自分にとって今年リタイヤー一年生は、今迄体験出来なかった異業種の方たちとの交流、学生生活あり、また、今後も付き合って頂けるような仲間も出来ました。正直、今迄歴史も囲碁も全くと言って良い程、興味が無かったのですが、単に自分の知らない世界に飛び込んだ事で今後の新しい世界が広がりました。この学校で友達との会話や文化祭などを通じ色々な発見がありました。私はこの後二年生には行きませんが、又、機会を作って来られたらと考えています。毎日学校へ来るのが楽しかった。みんな有難う！

## 腰痛は何処へ

## 02番 浅見 法子

あなた、何時も元気だけれど、悪い所何処も無いでしょう」とよく言われる。今は辛い痛さはないが、5年前は腰痛で苦しんだ。始めは脚の付け根(多分、股関節)の辺りが、重だるく、次第に痛みも伴うようになり、友人の紹介で整体へ通い始めた。二ヶ月近く通っても、よくなる。むしろ悪くなってきているように思えた。

整体師の方から病院でレントゲンを撮ることを勧められ、総合病院で診察を受け、レントゲンとMRIを撮った。検査の結果は今迄聞いた事の無い病名だった。医師は手元にあったメモ帳に「腰部脊柱管狭窄症」と書き手渡した。脊柱管が狭くなって、脊髄や神経が圧迫される病気で、加齢によるものだと聞かされた。ショックだった。それからは、一週間に2～3回病院内にあるリハビリセンターで腰の牽引と電気による治療が始まった。コルセットも作り、薬(痛み止めやビタミン剤)も飲み始めた。しかし薬を飲んでいる間は、痛みは薄れても止めてしまえば、また元に戻ってしまう。何をしたらいいのか、先の見えない辛い日々だった。そんな間でも、掃除、洗濯、食事作り、夫の両親の介護も夫に協力して貰いながら遣り続けた。両親も去年、一昨年と相次いで亡くなり、そのころから徐々に痛みも薄れて行った。今は、薬も止め出来るだけ歩くよう心掛けている。病んでみて健康のありがたさを痛感した。そして今の状態が一日でも長く続くよう願っている。

## いきがい大学に入学して

03番 天谷 範夫

定年前から、定年後の生活をどうするか、色々考えていましたが、永年生産技術の仕事をしていて、あてにならない休日と背中合わせの生活をしていたので、経済的優位よりも、毎日が日曜日の方を取る事に迷いは有りませんでした。いきがい大学への入学は、元々計画していたものなので、入学が決まった事で、より充実した時間が持てると思っていました。地区も、年齢も、職業も異なった方々と、一緒に学ぶ事に対しては、多少の不安は有りましたが(顔見知りするタイプなので)以外とスンナリと、皆様方と交流出来ましたし、部活、サークルの立ち上げ、横系会(1~8番)の交流など、夫々とても良い関係、環境の中で過ごす事が出来て、非常に良かったと思っています。これから先、卒業に向けても、部活、サークル、横系会が、継続して活動出来る事により、より広がりを持った生活が出来るとと思っています。最近自分が変わった、と思う事がひとつ有ります。自分で言うのも変ですが、人に対して優しく、又感謝する心が出てきた事です。コンビニやスーパーで、買い物して品物を受け取る時、『ありがとう』と言葉が出ているのです。多分永年の、会社生活の中での複雑な人間関係の中で、そういう気持ちにラップがかぶさってしまったんだと思います。そのラップを外してもらった事が出来たのも、学園生活を始めとする、皆様との交流があったからだ、と思っています。

### 「感動と感謝」の学園生活を胸に

04番 有村 弘

彩の国いきがい大学に入学して1年になるうとしております。振り返ると「郷土を知るコース」の仲間と共に校内学習や県内・県外の施設見学で歴史・文化・産業並びに民族など、郷土埼玉を知るための学習をさせていただきました。何にも増して始業式当初より動き始めた自治活動では、理事とホームページ委員等に出出された皆様が、それぞれの立場でリーダーシップを発揮され、献身的に私達を導いていただいたことに心よりお礼を申し上げます。さらに、学園の最大のイベントである学園祭には、身近で発生している「振り込め詐欺防止」の寸劇に決めて、選ばれた出演者が夏休みを返上されて積極的に練習をされるのを拝見いたし頭が下がりました。お陰で「郷土を知るコース」の学園祭は好評の内に終わりましたが、感謝の気持ち一杯です。また、班の理事が実効委員会の役員になられたので、何か手伝いが出来ればと会場係の仕事をする事になりました。幸運にも、最後のプログラムまで、最前列で観ることができました。なかでも、いきがい「りんりんの会」が演出された車椅子ダンスと手話による“水色のワルツ愛する時は今”では、双方の気持ちが一体となり生き生きと元気に踊られた姿に、感動しつつ心地良く跡片付けができました。そして、コースや横系の会・卓球クラブ・中山道を歩くサークルで培った仲間との絆を胸に卒業したいと思えます。皆様ありがとうございました。

## フェリシタッド

05番 安藤 允浩

還暦を控え、ニュージーランド在住の友人からバースデーカードが届いた。そこには「いつまで仕事を続けるのか？ NZでは60歳を過ぎてもまだ働いている奴は、余程悪いことをしているか、能力が無いかのどちらかだ」、更に「NZでは優秀な人間ほど第二の人生を楽しむために、如何に早くリタイアするかに腐心している」と記されていた。これもきっかけになり、第二の人生を楽しむ時間を創り出す為の脱仕事作戦を積極的に始めた。しかし、平穩に「仕事」から撤収できるところまで到達するのに、それから数年間を要してしまい、何とか目処が立ったのが丁度一年前のことである。まず、仕事が絡まない人間関係を新たに構築する為に、伊奈学園への入学を志望した。本当に信頼できる人間関係が作れるかどうか半信半疑であったが、その心配は全く杞憂に終わった。まず、神様の悪戯による出席番号順の8人で構成される「横系の会」、心得すら無いのに凶々しくも入部した「太極拳クラブ」、そして正直に言ってカリキュラムの内容も把握しないままに選択した「郷土を知るコース」、そのいずれにおいても各々素晴らしい仲間恵まれた。それら皆さんのお陰で、充実した楽しい一年間を過ごすことが出来た。二年制への再入学は開講曜日の関係で考えていないが、少なくとも「横系の会」と「太極拳クラブ」の方々とは卒業後も繋がりを持ち続け、今後也得難い仲間との時間を共有し続けていくことが出来たらこんな幸せは無いと願う今日比頃である。

## 今を生きる

06番 伊藤 昭子

世界の人口は約68.4億人(国連データ)、日本は1.3億人そのうち60歳以上は3,400万人(統計局)。非常におおざっぱではあるが、私たちはこの中の一人であり、友達同士でもある。そお考えるとめぐり合わせとは本当に不思議なものですよね。それだけに「今」を大切にしなければと思います。人間だれしも生を受けた場所、人種が全く異なっています。それを自覚して今置かれている環境で「心を満たす」には？自分の努力しかないのでは？それを基本として！

話は大きく変わります。「伊奈学園」です。ここに集まり、同じクラスになり、一年が経とうとしています。楽しかった(^u^)!授業のある日に顔を合わせるとなぜかほっとするのです。

同じことを勉強し(講義を聞くだけではなく、できれば自分たちでもう少し深いところまで追求していく過程を作りたかったと思います。)同じ趣味の方と時間を過ごす。こういう空間を持てたことに幸せを感じ、クラスの方々、クラブの仲間、そして学校の事務局の方々に感謝です。今まで自分が過ごしてきた「今」。子供時代、青年時代、働き盛り、親として、それぞれの「今」が繋がってここに私たちが居るのですよね。今出来ることにさあ挑戦しましょう(^) \_U

## 今日この頃

07番 今村 信博

在職中は文章を書く機会が何かと多かった。退職して5年が過ぎ、そのような機会は激減した。たまに書かなければならない時には、苦痛感が強くなり、書こうとしてもまとまりがつかず、途中で放り出してしまふ。今回も、書かなければと紙を取り出したら、「文章力がおちているんだから、カッコウつけちゃだめよ。」と言われ、一層いやになった。

私は現在、伊奈学園の他に、某大学のオープンカレッジに週一回通い、江戸についての講座を聴講している。また、在職時代関係の団体の事務局の仕事も手伝っている。だが暇つぶしのようにも思え、回りの方々に申し訳なく思うことも多い。そんな事を考えていたら、先日その団体の浦和班の会員の近況をまとめた文集が届いた。(私も拙文を出した。)多くの先輩方がいまだ意欲が衰えることもなく、向上心に燃え日々奮闘している様子が見られる。おれももっと元気を出して、少しは世の中のためにならなければと反省させられた。しかし、最近とみに思うことは、体力の低下である。先日も散歩の途中、公園の高鉄棒に飛びつき、懸垂をしたら、5回が限度でがっかりした。今でも最低10回はできると思っていた。歳を考えれば当然のことかもしれないが、寂しくなる。体力は毎日10000歩歩いたくらいでは回復しないだろうが、せめて、感性や知性は衰えないよう、その努力は続けていきたいと思う。

## 卒業に寄せて

08番 岩松 忠子

平成19年6月さいたま市に転居してきました。

主人の転勤に伴う転居の末たどり着いた感じです。大宮のことは何も分からず少々不安でした。生きがい大学のパンフレットを見つけ応募することにしました。永い間文章を書くことのなかった私には、小論文は大変でした。おかげさまで合格させていただくことができ、皆様のお仲間にして頂くことが出来ました。とてもうれしかったです。でも学園は「月曜日」ということでしたが、「火曜日」も多く、最初の日から欠席でした。班が出来たのも知らず、クラブも決まらず、トラブルしました。事務局から専科コースの発足は色々大変だったと聞きましたが不安な幕開けでした。郷土を知るコースらしく武蔵の国の歴史を楽しく学ばせて貰いました。それよりももっと嬉しかったのは新しいお友達が出来た事です。まるで学生時代に戻ったようでした。天谷さんの命名のステキな「横糸の会」大切にしてくださいと皆さんと何時までもお付き合いさせて頂ければと思っています。クラスの皆様に感謝!



## 2 班の紹介

### 素晴らしい出会いがありました ご縁を大切にこれからもお付き合いをお願いします

私達は、今年度から新しく設置された彩の国いきがい大学伊奈学園専科一年生課程「郷土を知るコース」の一期生として学ぶことになりました。4月20日、始業式と合同オリエンテーション終了後、教室に戻ってからクラスメートと初顔合わせして、「名前・住んでいる所・趣味」の三つを紹介する形で自己紹介をしました。その後、クラスメートの名前も覚えないうちにクラス役員や自治会役員をアミダ籤引き等で決めて学園生活が始まりました。早くクラスの皆さんの名前と顔を覚えてもらうために班編成にして交流を図ったり、顔写真を配布したりしてきました。その甲斐あってクラスの交流も進み、2班も3回ほど楽しい飲み会を重ねました。8名中いきがい大学やシニア大学出身者が7名とは驚きました。また、思い思いにクラブ活動に参加して他の専科コースの人たちとの交流を深めてきました。また、クラス全員で新年会を持ってよかったです。

何と言っても一番の思い出は、8月から約3ヶ月にわたり全員参加で取組んだ授業風景「振込め詐欺防止」寸劇を、学園祭初日に学園生の前でご披露できたことです。「振込め詐欺防止」キャンペーンに少しは役立ったと確信しています。この一年間楽しく過ごせたのも皆さんのお陰です。ありがとうございました。



岡村さん 川邊さん  
梅田さん

小沢さん  
大井さん

岡田班長  
大阿久さん

遠藤さん

## 「専科第1期卒業に当たって」

09番 梅田 博

4月17日、さいたま市文化センターで入学式があり、いきがい大学伊奈学園専科第1期の郷土を知るコースに入学した。最初にとまどったのは、年間スケジュールが月曜日と火曜日が登校日になっていたことだった。何とか火曜日のスケジュールをやりくりして、一年間通学することにした。最初のうちはクラスの人たちがよく分からず、何となく不安だったが、教室内や現地研修などを通じて話しているうちに、人柄もだんだん分かるようになり、同期生という感覚が深まっていった。そうこうするうちに、10月の学園祭が近づいてきて、クラスではオレオレ詐欺の寸劇、クラブ活動の朗読クラブでは「なのだソング」と「餅屋の禅問答」をやることになった。朗読クラブは夏休みの間も毎週一回登校して、一生懸命に練習した。朗読が思っていたよりは、非常に難しいものであることを、練習を通じて実感したが、学園祭ではまあまあ出来だったと思っている。学園祭は2年課程の人たちと一緒に行われ、2年課程の2年生がとても楽しく演技しているのが印象的だった。また2班や朗読クラブの懇親会で楽しいお付き合いをさせて頂いたことを感謝し、これからもよろしく願います。

春星や老いても夢は果てしなく

ひろし

### 授業風景を詠む

梅田 ひろし

晴れやかな伊奈の青空入学す  
満開の紫陽花神社の只中に  
汗みどろ古墳の上に立ち尽くす  
秋暑し油の匂ふ製糸場  
秋高く盛り上がりたる学園祭  
臘梅の真っ盛りなりし植物園

岡村 昭則

入学や旧友もいる伊奈学園  
梅雨晴れの日の豊かなる古墳かな  
山寺で地元のトマト買いにけり  
織姫の明治の秋を偲びけり  
レトロバス蔵の街見せ年暮れぬ  
菓子屋横丁亡き母想ふ今川焼

「この一年を振り返って」

11番 大阿久 聖一

月日の経つのは早いもので、まもなく卒業の日を迎える。

限られた日々の中での晩年、今日の激しく変化する社会の中で自分の好きなやりたいことに行動を起こし、心身ともに健全な自分を創ることに心がけたく、伊奈学園専科（郷土コ - ス）に応募、入学の許可を頂いた。

4月20日専科始業式。以後、月に3日～4日間の割合でカリキュラムに沿って、武蔵武士発祥の地、さいたまの歴史・風習・産業、また課外活動等の授業を受ける。

幾ばくかの浅い知識はあると思っていたが、毎回の授業を受けるごとに殆どそれぞれの知識がないことに失望するとともに受講ごとに若干なりともその一端を知ることができたことは有意義であった。

各々の講義内容は多岐にわたり、それはそれで意義あるものであったが、専科コ - スの科目から言って、郷土さいたまに関わりのある中・近世の歴史的人物をカリキュラムの中に考慮してほしかったと考えるのは私の狭隘さだけだろうか。

クラブ活動は、グラウンドゴルフクラブに所属し、生まれて初めてのクラブを握り、月に1乃至2回の割合で楽しんだ。打ち方もル - ルもわからないゲ - ムを先輩経験者の指導を仰ぎながら13名の仲間達と和気藹藹と練習に励んだ。やってみると楽しいものがある。クラブは引き続き継続し、活動が出来ればと望んでいる。

アツという間の一年間であったが、一つでも目標を持ちながらプラス思考で生きようと考えている。卒業に当たり、専科のみなさんありがとうございました。

「1年を振り返って」

12番 大井 昭子

専科の入学は期待と不安で始まりしました。

コースの皆さんそれぞれが多才の経験豊富の人達であることに驚きました。

6月に入り、札所の誕生について学び、中でも秩父札所のおこりは、遠く文暦元年、甲午3月18日開創と伝えられ、長亨2年秩父札所番付が実在する事から定着したと考えられていたこと、興味深いお話でした。

10月からは、環境科学国際センター基礎講座に受講し、水の循環と利用、自然環境について学びました。身近の問題として、元荒川最上部の里川の再生に取り組んでいること、県の魚「ムサシトミヨ」が生息し、平成の名水百選に選ばれた清澄な地下水が流れる川であったこと等、いろいろなお話を伺うことができ、貴重な日々を過ごすことができました。

パソコンクラブでは、講師を頼むことなく、皆で力を合わせて、一緒に学んでいこうとゆう主旨で始められました。（学習時間が短いので、自宅で作る事を条件です。）いまでは、いろいろなものにチャレンジして楽しんでいます。

卒業後には、どんなクラブにはいるのか！今から楽しみです。

## 「はるばる来たぜ！大宮」

13番 岡田 時雄

外国の匂いのすると言われる横浜に40年間住み、横浜に居たときははるか遠くに感じた大宮に引越し30年間弱経ちました。横浜を歌った歌謡曲には、「ブルーライト横浜」、「伊勢佐木町ブルース」など横浜をイメージする歌があります。一方大宮の付く曲を調べたら「大宮駅から乗る女」、「修善寺で別れた大宮の女」(ビートたけし)などがありましたが、なんとなく大宮のイメージが分かりません。大宮に愛着を持ちたいと思い、1998年大宮アルディージャが誕生したと同時にサポーターとして旧大宮サッカー場に足を運び始めました。しかし、他に地域のイベントなどには参加していなかったため、大宮はもちろんのこと埼玉県のことを全く知らないで過してきました。

そこで、「郷土を知るコース」を選んだわけですが、カリキュラムには、デスクワークの勉強と実際に現地に行っている勉強があり、それぞれ有意義であり、埼玉のことが少し分かった気がします。一番良かったことは、埼玉に幅広く在住するクラスの方を知り、親しくなれたことではないでしょうか。

クラブは囲碁部で、メンバーは9名、楽しく過しました。卒業後はOBの方が作っている囲碁会に現在のメンバーと一緒に入り、続けていきたいと思っています。

## 「目標を追う楽しさ」

14番 岡村 昭則

20数年前、40代半ばに健康上の問題を契機に、私の生き方は大きく変わりました。当時、残されている時間はどれくらいか不安でしたが、その不安が一掃されてからは楽な生き方をしようと考えて、5年ごとに基本目標を定め、1年ごとの実施計画を立て、それにそのような生き方を積み上げることにしました。そこからの最初の一步は自分の踏み跡を記録することから始めることにして、それまで断片的に続いていた日記を毎日書き始めるとともに、それまでの未整理だった登山・スキー記録をまとめて本にすることを目標に掲げ積み重ねてきました。

その甲斐あって今日までの登山・スキー記録集と登山・スキー句集を発刊し「目標を追う楽しさ」を実感することができました。65歳で完全リタイアしてから、以前からパソコン、社交ダンス、グラウンドゴルフ等をマスターしたいと思って、「さいたま市のシニア大学」に入学し、パソコン部を立上げて、それなりに駆使できるようになりました。次の目標として社交ダンスを習うべく「いきがい大学春日部学園」に入学し、クラブを立上げて練習を重ね、「いきがい大学校友会県連協主催社交ダンスの集い」に初参加しました。最後にグラウンドゴルフで地域デビューを果たしたく「いきがい大学伊奈学園」に入学してクラブを立上げ、練習する中でルールを覚えて何とか実現させました。これからも目標を追う楽しさを求めていきます。

振り向けば過ぎ来し山の春浅し

## 「陶芸に出会えて」

15番 小沢 孝

第二の人生を充実させようと、あれもこれもと立てた退職直後の計画は何処へやら、直ぐに生来の怠け癖が顔を出し、友人とのゴルフと飲み会だけに精を出す日々を送っていました。自分の生活を変えられる何か良い刺激がないか探している折に、いきがよい大学の存在を知り応募したものです。

入学後、クラスの皆さんの何事にも積極的で前向きに取り組む姿勢、年齢を感じさせない向上心に感心させられ、自分の心境にも変化があったかと思われます。そして最も心に残ったことは、クラブ活動を通じて部員との楽しい時間を共有出来たこと、長年の夢であった陶芸で作品を作る楽しさを味わえたことです。私は焼き物を見ることが好きでしたが、不器用で芸術的センスも無いため一人では踏み出せずにいました。

しかし陶芸クラブに思い切って入部したところ、部員全員が未経験者で、全員が同じスタートラインからの出発という安心感からか、直ぐに溶け込めたように思えます。技術が未熟な為自分のイメージした物と違う作品ができてしまいがっかりすることも度々ありますが、短時間でも無の境地で没頭するため、作陶後は充実感があり次の活動日が待ち遠しく感じられます。また飲み会も昨年3回開き、同好の士が集い和気藹々とした雰囲気の中、酒も会話も弾み楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今後も気負わずに末永く、部員の皆さんと陶芸を続けて行きたいと思ひます。

## 私の生まれた町

16番 川邊 治郎

浦和駅に近い、高砂町で生まれ、結婚するまで25年間そこに住んでいた。4～50年前の高砂町は、まだ大きなビルや店舗もなく、飲食店、床屋、洋品店、炭屋、金物屋、肉屋、タバコ屋など、小さなお店がたくさんあり、町内で、生活に必要なものが全て揃えられたものである。それぞれのお店は繁盛していて、常に活気に満ちていた。当時は、娯楽と言えば映画が最大の娯楽であり、町内には邦画の専門店、洋画の専門店があり、未っ子の私は12歳上の姉に連れられてよく観にいったものである。

場所がら、小学生時代の同級生はほとんど商店の息子たちで、遊び相手には不自由しなかった。学校が終わると近所の空地で(当時はまだこの辺でも空地が結構あった)暗くなるまで野球、馬跳び、ベーゴマなどで遊んでいた。お腹が空くとパン屋の息子がジャムパンなど持ってきて、これがなにより楽しみで、最高のご馳走であった。

今では、この界隈は、伊勢丹、コルソ、の大型店舗、高層ビル群に変わり、生家の跡も高層マンションになってしまい、昔の面影は、跡かたもない。

現住所から近いこともあり、今も、懐かしい浦和には月に数回は訪れている。そして、幼なじみの店に寄り、たあいもない昔談義に花をさかせる。歳を重ねてくると子供の頃過ごした町や、幼なじみが懐かしく、なるのかも知れない。

## 3 班の紹介

**生きがいを求めている仲間達です  
友情を大切にこれからもお付き合いをお願いします**

新しい出会いと友人を求めて、新設された彩の国いきがい大学伊奈学園専科一年制課程「郷土を知るコース」に第一期生として 40 名が入学しました。40 名を名簿順に 5 班に分けました。私達 8 名は 3 班に所属することになりました。

4 月 20 日の始業式で初顔合わせがあり、その後のクラス内の交流は授業終了後となります。しかし、各人はそれぞれクラブ活動に入ります。班内交流の機会が少ないにも拘わらず、学習の中で各人の名前と顔が時間とともに一致するようになり、学友としての親しさを増してきました。

10 月に開催された第 20 回の学園祭もあっという間に終わり、やがて 3 月の卒業が近づいて参りました。一期一会の素晴らしい仲間達です。これからも 3 班一同楽しく、更なる友情を深めて行く所存です。



小林さん 齋藤さん 島田さん 熊倉さん 北氏さん  
齋藤班長 五反田さん 小林さん

## 「新たな出会いを大切に」

17番 北氏 和雄

新年早々に東京都美術館へ出掛けた。年賀状を受け取った婦人が「国際水墨画展」に出典しており2年振りに鑑賞に出掛けたわけである。今年の出典作品は彼女の故里である“松本城と桜”であったが、数年前には“南米・イグアスの滝”を描いた大作であった。墨一色で表示するこれらの作品、さぞかし難しかったであろうと感じた。

彼女との出会いは中近東・レバノンへのツアーで、定年退職前の海外旅行であった。旅先での雑談で旅の目的を話し合っていた時、彼女は水墨画の趣味があると言い、小生は旅仲間と共同制作のオリジナル・カレンダー用写真を撮るためと告げた。その時彼女から「カレンダーを送ってほしい」と請われ、その後毎年送っている。毎回礼状を受け取るが必ず水墨画展の案内が添えられている。今回久しぶりに顔を会わせると「見に来てくれて嬉しい。それにモノクロのカレンダーは今年も素敵ですね。写真を見ていると気持ちが落ち着くの。他に類の無いカレンダーですものね。」と喜んでくれた。旅で出会い年一回会うか会わないかの関係が続いているが、これは旅好きとオリジナルな自己作品に向き合うという共通点がそうさせているのかもしれない。異文化体験の海外旅行と16年間続いたカレンダー作りは、新たな出会いに結び付くもので今後も続けていくが、伊奈専科の一年間も形の異なる新たな出会いであり大切にしていきたい。

## 「Kの2009」

18番 熊倉 晃

Kにとって伊奈学園での新たな出会いや新たな孫の誕生以外に2009年はどんな1年であったか。何といても40年近いサラリーマン生活が終了した年である。海外および地方勤務の10年を除いても、片道40km近い通勤を30年経験した。職場中心の生活から家庭中心の生活に慣れるのに6ヶ月を要した。4月以降は公共の図書館通いも始まった。地方勤務時代、読んでいた新聞連載小説が転勤のため途中で読めなくなってしまうことがあった。きっと単行本になっているに違いないと思いつつ、いつか探し出してみたいと思っていた。何とその本に偶然出会うことができた。頼山陽に関するものであるが、すぐ借り出して、じっくり始めから読むことができた。退職に乾杯。

Kは退職後を考慮して、1年前から声をかけて戴いた地元のNGO設立に参画し、その活動の2年目を迎えた。その活動とは、ユネスコ活動であるが、将来の日本(地域)を担う若者が参加できる企画の立案が課題の一つであったが、6月の「南極から見る地球」と題する企画では地元の中学生、高校生の参加も得ることができた。今後の活動に明るさが灯った年でもあった。活動に乾杯。

Kは11月いつものようにラジオニュースを聞いていた。全く予期していないごく親しい知人の子息の名前が紹介された。何と世界的な音楽コンクールでの優勝である。友に乾杯。

## 「学園生活を振り返って」

19番 五反田 龍子

埼玉の住人になって40年近くになりますが、地元をもっと知りたいと思い、「郷土を知るコース」に入れていただきました。そこから派生して、新しいお仲間や友人が出来たらいいなあという期待もありました。埼玉のことがよく解ったかということ、断片的に少しというくらいですが、お仲間や友人については思った以上でした。この素晴らしい方々の中に身を置けたことは本当に幸せで、同級生という気安さからか、親しくお話もさせていただき、とても新鮮で楽しいものでした。

また、史跡探訪ハイキングの会を立ち上げて下さったことも、入学時のやりたい事の一つでしたので、とても嬉しく思っています。そして特筆すべきは、クラブ活動で太極拳に出会ったことです。体を動かすことは好きですし、自分に合っているようなので、これは一生続けたいと思えるものになりました。学園祭では太極拳の表演で舞台に立つという、今までの自分では考えられない体験も出来、つまらない殻を少し破ってもらえたような気がしています。のんびんだらりとした生活から、大きな一歩を踏み出して入学したいいきが大学では、掛け替えのない友と出会い、貴重な経験をいっぱいさせていただきました。パソコン講座もありあわただしい一年でしたが、賢くて、優しさいっぱいのクラスの皆様、クラブの皆様、居心地良く楽しく過ごさせていただき、本当に有難うございました。

## 「古い支度」

20番 小林 久美子

人生、夕暮れ時を過ぎてしまい、古い支度をする時がきた。何から始めたらいいのか？

老後を豊かに過ごす、ファイブリッチを思い出した。マネー・タイム・フレンド・ホビー・ヘルス。

幸い友に恵まれ、趣味もそこそこ、時間はタップリ、お金はないけど、何より健康がある。先ず、いきが大学に挑戦してみた。教室での講義は難しく、窓から稲穂の変化を眺めるのが日課となった。

が、いつも外を眺めていたわけではない。クラスの仲間の観察もしてみた。皆、笑顔の陰に、しっかり爪を隠している。物知りで経験豊かな、知恵物揃いだった。

かなり、まぶしい。爪もないのにむき出しの私は、「元気だからいいじゃない」とか、「生きているだけでいいよ」と、評価を受けた。この仲間との係りの中で、得るものは多く、これを糧に“古い支度”の方向が決まった。

時間がもったいない、そんな気持ちになっていた。元気を武器に、少し自分に投資を試みよう。それが、自分のためだけでなく、私を必要としてくれる人の役に立てたら、更に良い。

残念ながら、100まで生きる予感がする。余り、健康につながることは、やめておこうと思いつつ、今日もまた、太極拳にいそしんでいる。この貴重な一年に感謝！！



## 「スポーツ吹矢のこと」

21番 小林 健一郎

スポーツ吹矢を始めてからもうじき1年になろうとしている。以前からスポーツ吹き矢には興味を持っていたが実際に接する機会が無くそのままだった。しかし昨年、蓮田市主催の“学び専科・一日講座”の中にあっただけで参加し、それを機会に有志で会を作って始めた。習い事はなんでもそうだがスポーツ吹矢も出来るだけ日にちを空けずに練習した方がよい。月2回の会の練習では少ないので自宅でも出来るようにし、又市の施設である老人福祉センターでは部屋が使用してない時は常時スポーツ吹矢が出来るようになっているのでそちらも利用させて貰っている。

私は学生時代の7年間弓道をやっていた、的を狙って矢を放つという点では両者ともによく似ているが内容的には大分違うと思っている。弓道は見た目より体力を要するスポーツであるが、吹矢は腹式呼吸を主体としたものなので弓ほどの体力は要らない。内容の上でも弓道の方は奥が深いように感じるが吹矢は割と単純なように思われる。しかし自分の可能性、限界を求めて的に集中するという点では似ているとも言えよう。弓道は今の自分には色々と制約があり再度取り組むつもりはなく、今後は吹矢にそれなりの情熱を注いで行きたいと思っている。この歳になって、時には悩みながら練習に励み、試合の時には緊張と期待でドキドキわくわく出来るのは非常に得がたいことであろう。歳をとる程に味わいのある吹矢が出来るようになりたいものである。

## 「人生後半の改名で新しき友たちと遭遇」

22番 齋藤 千照(晃)

私は現在姓名判断で本名の「晃」でなく「千照」とかき「かずあき」と読む氏名を使用しておりますが、仕事や私事でいくつかの不遇に続けて遭遇したことがあり、知り合いとなった方に無理やり高名な姓名判断の先生のところに連れて行かれたのがきっかけで、先生は私を黙って23分みて最初に発した言葉は「よく生きていたね、普通なら命を亡くしているのに神様がまだ世の中に必要だと思うから生かされている」と云われ、転居等年回りに、いけない方角に、しかも、最も悪い日に転居してしまっているといわれ、しかも、「切っちはいけない庭の木まで切っ飛ばし、きれいにしていなければいけない処にゴミとして置いてある、一緒に切った2人も不幸なことが起きている」と云われ確かめるとそのとおりで、3人で庭の木を切り、切った木を置いてある場所や、ほかの2人に起きた不幸な出来事まで分るのか今でも信じがたいことで、その後、違う方に判断してもらった機会が有りましたが、いずれも同様のことを言われ、そのことを妻が知人に話したところ、その方の知人に姓名判断の先生がおり見てもらってあげるといわれ、その結果は、このままの名前だと「横死」するから直ぐに変えなさいといわれ「千照」にかえ、現在は齋藤 千照で皆さんにお付き合いを戴いております。この改名が、いきがい大学で素敵な皆さんと知り合いになれた運を開いてくれたのかなと思う様になりました。 信じるも運、信じないも運 !!

## 「健康について」

23番 斎藤 定男

WHO(世界保健機関)で健康の定義(1946年)は「健康とは、完全に身体、精神、及び社会的に良好な状態であることを意味し、単に病気でないとか、虚弱でない」と書かれています。しかし、現実にはこの域に到達することは不可能です。人間は誰でも何等かの病気を抱えており、これを自覚し、日々生きていることに感謝し暮らしているのではないのでしょうか。

特に老年期になりますと、体力や気力がいつの間にか衰えて、新しい経験を通じて何か身につけることには億劫であり、また無意識の内に抵抗を感じます。しかし、世間体をあまり気にしないで、常に新しいことに挑戦し、その気力と体力に新しい活力を起こさせることが必要と思われれます。

自分自身で目標を定め、挑戦を始める。そして生きている最後の時までそれを続けることです。長生きをするためには、毎日良く歩く 手先を良く使う 良く笑う 仲間(友人)を作る 身嗜みに気をつける 読書により新しい知識を得る、こととされています。いずれも楽しくなければ長続きできません。身体と精神が健康であってこそ脳の活性化が図られ、より楽しい老後が過ごせると信じています。

## 「伊奈学園専科に入学して」

24番 島田 道夫

学園入学しての最初の選択はクラブ活動でした。クラブ紹介があり、第1希望のパソコンは応募したけど抽選で外れ、卓球部に入部しました。クラブはほぼ男女半々ぐらいで活動していて、入部して感じたことは、それぞれの人が個性があり、なかなかユーモアがあるクラブだと感じました。

活動を通して感じたことは、学生時代と違って各自の力量に応じて卓球を楽しむといこと、誠にスローライフスタイルが気に入り練習が楽しくなり、このような方法もあるのだということに気付き、頑張らないスポーツ、各自に応じた練習、球を楽しむ面白さ、大人のレクレーションを感じ得ました。

部員同士の親睦も少しずつ増してきて、一方で卓球部郊外学習として高尾山ハイキング、さらに部員の意思疎通を図るための居酒屋談義を取り入れながら、定年後の生き方、広い意味での遊び心を身につけました。

クラブ員は「球を打って」は次の郊外卓球学習を楽しみに、卓球の楽しさ、面白さと仲間の絆の大切さみたいなものを感じました。

学園に入学したことが人と「出逢う」ことで、日々新しい発見があり、残り少ない学園生活ですが、この一年は会社人間とは別なものが得られました。

## 4 班の紹介

### 歴史好きの方々と素晴らしい出会いがありました このご縁を大切にこれからも付き合っていきましょう

私達の班は学籍番号 25 番から 32 番までの 8 名の構成です。名前も覚えないうちに班の役員選出になり、理事はアミダ籤引きで決めましたが、ホームページ委員は田中さんに引き受けてもらい学園生活が始まりました。他班同様 4 班も 2 回ほど楽しい懇親会を重ねた他、他班との懇親も行い交流を図りました。また懇親会のなかで 8 名中 5 名が初めていきがい大学に入学したこともわかり意外にいきがい大学出身者が少ないのには驚きました。また、学園生活最大のテーマの学園祭での役割分担には積極的に参加いただき感謝しています。

4 班の特徴は「郷土を知るコース」の学生ですから当たり前かも知れませんが、授業及び懇親会でもその一端の披露がありました。郷土史・歴史愛好家が多いということです。

例えば、地域の郷土史研究会で個人課題に取り組んでいる人、古河公方が隠居館をなぜ久喜に選んだのかを課題に地形、荘園、縄張りなどの面から取り組んでいる人、さきたま史蹟の博物館の歴史講座を受講している人、関西在勤時には「古都散策」として古代のロマンを追いかけていて、埼玉に戻ってからは関東の古墳めぐりと「古代国家の成立」と言う講座を受講している人、地域の歴史講座を受講している人、色々な城址めぐりをしている人などがいます。

卒業後も班活動を継続し、郷土史・歴史なども含め語り合い親睦を深めたいと思います。



菅原班長    田中さん    橋本さん    野村さん    高橋さん  
                 長澤さん    中島さん    瀬戸川さん

## 「郷土を知るコース卒業にあたって」

25番 菅原 昭夫

いきがい大学「伊奈学園」の「郷土を知るコース」に応募合格し4班の一員となりました。また名前も覚えないうち理事(班長)にもなり学園生活がスタートしました。

私が特に印象に残った専門コースの授業は、古代の「東部地域の遺跡とさきたま古墳群」の授業で、さきたま古墳群には9基の古墳が現存し、そのなかに3系統があり王権を取った系統と取れなかった系統にわかれると言う話しや、さきたま史蹟の博物館見学時に学芸主幹から稲荷山古墳に更に二つ埋葬施設があるということや一族の屋敷跡が半径2 km以内にあるであろうと考えている話しがあり新鮮に感じました。中世では「中世社会と板碑」の授業で板碑の材質が長瀬の緑泥片岩との説明があり、その後二つの博物館でレプリカを見ました。近代では「渋沢栄一と埼玉の近代化遺産」と施設見学で行った旧富岡製紙場です。渋沢栄一が旧富岡製紙場の建設計画に関わったこと、深谷の煉瓦職人達が建設した話しや、条件が満たされたら熊谷地方建設が有力だったとの話があり興味を惹かれました。

合同授業ではアクティブライフなどのほか、気象予報士平井信行氏の台風の話や、救急救命法の授業での心臓マッサージは汗ばむほど頑張らなければならないことが印象に残りました。

班活動では4班も他班同様懇親会や他班との交流を行い、親睦を深めました。楽しい1年であったことを班員及び他班の方々に感謝しています。

## 「学ぶ喜び」

26番 瀬戸川 公子

勉強が仕事と思う時代が過ぎ、就職・結婚・子育てと人並みの人生を過ごしてきました。40歳になる頃、娘の学校と子ども会の役員を引き受け、忙しいのに運転免許を取得！この時久しぶりに勉強し充実した日々が大変満足しました。

50歳過ぎパソコンを習った時は、字を打てるだけでなく操作が出来、進歩するのが嬉しかったのです。60を過ぎこのままではと思っていた時、生きがい大学の専科“郷土を知るコース”の事を知りました。歴史の事を学ぶのは承知していましたが、現在の埼玉の様子も勉強できるかと期待し入学しました。少々期待はずれの事はありましたが、知らない事を知る喜びは楽しく、皆さんの奥を窮める姿勢に感嘆しています。人生経験豊富な方々と同じ年代で通じる話の多いのは嬉しい事です。

校外授業も、さきたま古墳・富岡製紙場・川越散策と興味を引く説明に満足な日を過ごしました。恥ずかしいのですが県立文書館は知らなかった場所です。

私のクラスでは齋藤科長の下、縁の下の力持ちの方々が実力発揮で、何事もスムーズに運び、和やかな良いクラスである事は自慢です。卒業後進む道は違っても交流を深めたいですね。これからも向上心を忘れず 後悔の無い人生を送りたいです。

クラスの皆様 これからも宜しくお付き合い下さい。

## ”昔むかーし・・・”

27番 高橋 俊壽

昔むかーし 大王と呼ばれる人が安房の国に行幸された際、”何とかのミコト”と言う人が「白蛤とカツオ」のなます、焼き物、煮物を作って献上した処、美味であると大いに喜び褒められて、以後 大王家の食膳の全てを任されたという話があります。それは、無邪志ムサシの国と知々夫チチブの国の国造を集め、そのもの達を指図して作ったとも言われています。そのミコトは大王に食膳を作ることで仕え始め、後には「膳カシワデの臣」となり大伴部迄登り詰めるに至ったと・・・。

そんな古い歴史のある埼玉も判っていることが少なく、数多い古墳が淋しく見えます。見る度になんか繋がりが見つけられないかと、年代の同じものを探しては フーン！と唸っています。郷土を知るコースに入って、少なからずの古い話が聞けてよかったと思いますが、小生には時代が新し過ぎた様な気もしています。

もう一つの目的の友達を作る方は、グループ・クラブ活動、同好会等を通じて楽しく過ごさせて頂き有難う御座いました・・・「校友会」でも、変わらぬお付き合いをお願い致します。

ちなみに天武天皇の御代には「膳の臣」の出身地である高橋（天理市櫛本・・・いちのもと）の地名をとり「高橋の臣」と名乗りを変え、天皇親政時代にはまだまだの力を持っていました。然し、平安の世になると藤原一族の一人天下となり、「高橋の臣」も下級役人になり下がり、地方に分散していった様です。

### 「初体験ばかりでした」

28番 田中 忠

6年前の退職後、勤務した会社のOB会の会報に栗橋の紹介記事を依頼され、「栗橋城」の存在を知った時から地元の歴史をもっと知りたいと思うようになりました。図書館通いが始まり、利根川の流れの大きな変化や町が発展していく過程など、目に入る身近な景色が新鮮に感じられるようになりました。いきがい大学「郷土を知るコース」を知ったのはそんな時でした。広く埼玉県歴史を知るにはまたとない機会と思いました。

応募に当たっての小論文に戸惑いましたが、入学後はクラスの皆さんや4班の皆さんに親しくお付き合いいただきました。陶芸クラブでは初めての楽しい経験をさせていただきました。中山道ウォークでは知らない土地を歩く機会をいただきました。数度の施設見学は初めての場所ばかりで興味深いものでした。HP委員では全く未熟なパソコンの技術指導を受けさせていただきました。

自分の今後の計画は、テーマを見つけて引き続き地元の歴史を訪ねること、盆栽育成の技術を磨くこと、体力の維持に努めること、地元自治会のHPを作り運営すること、日光道中ウォークの案内役をやること、陶芸の継続と欲張っていますが、1歩ずつと思っています。今後ともどうぞよろしく。

追伸：専科HP充実のため、皆さんの情報提供をお願いします。

## 「施設見学」

29番 長澤 輝子

学校から離れて学習すると思うと気持ちが開放的になり楽しくなります。この日は寒い一日でした。場所は川口市安行「花と緑の振興センター」です。電車とバスを乗り継いで現地集合でした。駅前でバス停を見つけるのに四苦八苦していると、すっかり仲良しになったクラスメートに助けられセンターへ。

10時より講師の石井芳夫先生による、害虫 特にチャドクガの防除・駆除についての説明を受けました。成虫になっての毛の恐ろしさにはビックリしました。我が家も垣根が椿なので細心の注意を払わないと新たに思いました。

昼をはさんで庭木の近代的な育て方、剪定の仕方、分かり易い説明と実技でアツという間に終了の時間になりました。身近な事なので、皆からの色々な質問とその回答も大変参考になりました。今まで手を出さなかった庭も、少しは自分で出来る事は努力しようと思います。

今日は、もう1つ嬉しい事がありました。たまたまお当番で、食事のあと、湯飲み茶碗を洗って、元の場所に返す時、クラスメートに助けて頂いて無事に片付けました。感謝！感謝です。もう3ヶ月程で卒業ですが、楽しい学園生活です。これも皆さんのおかげです。ありがとう。

## 「落ちこぼれの太極拳」

30番 中島 和子

伊奈学園での学生生活が始まり、クラブ活動には必ず入らなければいけないと言われ、典型的0型人間、すべてに大雑把、アバウトな私は特に深く考えもせず、太極拳クラブに入ってしまった。元来リズム感も皆無、不器用な私はおぼえも悪くすぐ落ちこぼれてしまいました。

夏の暑い盛り、夏季練習も不参加、2学期が始まった頃何も動きをおぼえていないのが、私だけ？になっているのに気づき、これではいけない、何とかしなくてはとあせりました。その反面こんなに出来ないのだから、“学園祭”の当日は仮病を使って、休んでしまえば等とよからぬ考えも頭をかすめました。仲間たちが熱心に、汗だくの練習している姿を見て、やっぱり頑張らなければ、と一念発起、太極拳のDVDで、私なりに猛練習を、初め何としても仲間たちの足を引っぱらないようにと願い、必死でした。

いよいよ学園祭の本番の日が、やってきました。舞台へ上がる緊張感でハラハラ、ドキドキ、私だけが違う動作をするのでは？と不安で一杯。黒いTシャツ、黒のパンツ腰には赤いリボンを結び、揃いの衣装で臨みました。何とかクリアし、最後の礼をした時、拍手を受け、ほっとして身体中の力が抜けるのを感じました。この2ヶ月は太極拳の事で頭がいっぱい、しばらくして学園祭の舞台写真を見て至らぬ自分に驚きましたが、仲間達との一体感と達成感を味わいました。奥の深い太極拳を卒業後も続けていけそうな気がします、まだ未定です。

## 「新たなる出会いに感謝」

31番 野村 侃滋

ある時読んだ平泉澄の「物語日本史」から、歴史を一筋の話として語れるようになりたいと大それた目標を持ってしまいました。好きな歴史をかじることができればと入学した、いきいき大学でした。まずは久喜市の歴史をと張り切ったのですが古文書も読めず、先人の著書を読むことから始めています。

わが市には古河公方足利政氏の隠居館があります。当時片田舎の農村だった荳（当時はこの字だったようです）の地を選んだのかを命題として、当時の地形から風俗、社会情勢等の観点から調べています。まだ志半ばですが、その過程の中で感じたことがあります。筋書きのある歴史を語るには、“一貫した自分の歴史観”が必要だと痛感しました。それも哲学なのでしょう。その構築には、書物から単純な知識だけでなく、幅広い交友関係の必要性も感じ取りました。

家族・親戚から学生時代・会社関係の付き合いに加えて、飛躍した交友関係を広げ、経験や考え方を深めた1年となり、少しは一味ある哲学を持てるようになったかなと思っています。

来年は古文書の読み方の勉強をし、新しい事実の発見を加えた“自分なりの筋書きの歴史”を語る第一歩として、我が久喜市の歴史をひも解いてみたいと考えています。この様な充実した目標を持てる幸せと、学園での新たなる素晴らしい出会いに感謝しています。

## 「学園生活」

32番 橋本 進

市内の公民館で、ふと伊奈学園の募集要項を目にし、今まで自分の住んでいる郷土について殆んど知らないことに気づき、少し勉強してみようと応募したところ、運よく入学することが出来ました。

40人の仲間と机を並べ、今までの職場とは違った雰囲気の中、職場の上下関係もなく、ある時は、校外学習で、埼玉古墳群の見学や、さきたま史跡の博物館、鎮守のアジサイ園、花と緑の振興センターなど現地に赴き、社会見学会ではバス旅行で富岡製糸場を見学したりと、クラスの交流は深まりました。

10月の学園祭では、斎藤科長を中心とした全員参加による寸劇「振込詐欺防止」を実施しました。実際にオレオレ詐欺の電話を受けたT氏や、身に覚えのないサイトを利用したとして督促通知書を受けたO氏が、実体験をもとに迫真の演技を披露、最後に皆で振込詐欺防止を替え歌で合唱しアピールしました。この体験をとおして自分自身が被害者とならないよう改めて実感したものです。

学習の面では、さきたま古墳からはじまり、武蔵武士のおこり、中世社会と板碑の起源などを学びました。埼玉古墳群から出土している埴輪は鴻巣市の生出塚窯跡（出土品70点は国の重要文化財に指定）で製作されたことが判っております。

## 5 班の紹介

人は出会い 知人は友人に 友人は仲間  
良き仲間とのさらなる交流の輪(和)を深めて

私たちは、それぞれの思いを胸に、今年度から新設された彩の国いきがい大学伊奈学園専科一年制課程「郷土を知るコース」の門をたたき、晴れて一期生として入学が許可されました。私たち5班は当初8名(男性7名、女性1名)でスタートしましたが、残念ながら男性1名の方が、ご事情により退学されました。5班の皆さん、各方面の知識、経験ともに豊富で、まさに多士済々のメンバー構成となりました。それぞれ、このコースへの志願の動機は異なりますが、「新制度の基を築き、その糸口を後輩に伝えていく」という、熱き思いは一緒でした。初め、ぎこちなかった学園生活も、日を追うごとに学園の様子や周りの方の気心も知れ、学習日を心待ちにし、学習や自治会活動、クラブ活動にと励んでまいりました。何ととっても強い絆となったのは、学園祭寸劇「振り込め詐欺防止」の取り組みであったと思います。それぞれが重要な役割を進んで分担され、打ち合わせ、リハーサルを重ね、さらに仲間意識が強まりました。

また、班の懇親会も、語らいの場、コミュニケーションの場として、学園外の行事の機会を活用して頻繁に開催し、交流を深めてまいりました。時には、他の班の方も合流され、大いに盛り上がり、賑やかな楽しいひと時を過ごすことができました。またたく間に卒業を迎えることとなりました。この一年間は大変短く感じられますが、多くの人と出会い、たくさんの事を学びました。良き思い出が一杯となりました。「人は、出会いによって知人となり、付き合いによって友人となり、助け合いによって仲間となる」といわれます。「良き出会い」「良き仲間たち」に感謝です。このご縁を大切に、卒業後もさらに交流の輪(和)を深め、良き仲間として末長くお付き合いができればと思います。(本郷)



吉田さん  
松野さん

八千代さん  
本郷班長

宮島さん  
森田さん

吉野さん



## =学ぶ喜び・知る楽しさ = 「古文書に魅せられて」

34番 本郷 稔夫

長年の勤めから解放され、子供の独立、そして両親の介護を経て、まとまった自由な時間が持てるようになりました。今までと違った環境の中で、「余生」ではない「与生」を如何に充実して過ごすことができるか、それには何か打ち込める「習い事」はと思いをめぐらしました。そんな折、近所の方の勧めもあり、かねて関心を持っていた「古文書解読」の講座を受講しました。よく“ミミズのはったような”と形容され、取っ付きにくい古文書ですが、一定の書風や約束事もあり、まずは慣れ親しむことが大事と第一歩を踏み出しました。

古文書を学び始めると、地域の歴史にも一層目が向きます。飼犬の散歩コースに庚申塔があり、その側面に変体仮名で「あきば道」と読み取れ、往時がしのばれます。古文書はくずし字を解読するだけでなく、背景となった史実の解明も必要です。幸い、専科「郷土を知るコース」に入学を許可され、一年間の学習の機会を得ました。この学習を通じ郷土の歴史、偉人、先覚者などの業績を系統的に学び、知識を深めることができました。

古文書は奥が深く、難解ですが、生きた歴史の息遣いがじかに感じられ、人を魅了するものがあります。現在、公民館を拠点とした複数の古文書会に所属し、学ぶ喜び、知る楽しさを実感しております。また、多くの同好の仲間と親交を深め、問題点を語り合い、論じ合うのも大きな楽しみです。『学んで然る後、足らざるを知る（学然後知不足）』の連続ですが、これからも楽しみながら、徐々にレベルアップをしていきたいと思えます。

## 「学園生活を回想する」

35番 松野 吉光

私の学園生活をふりかえって一番に感慨深い事は、文化祭たけなわの時期に、右足の激痛による手術入院で2ヶ月の休学を余儀無くされ、先ず残念だった事は、練習を重ねた我が「郷土を知るコース」が出演する演目『振り込め詐欺...』の本番に臨めなかった事と、墨彩クラブで、何枚も何枚も書き重ねて、やっと気に入った作品が出来上がり、額縁におさめ、後は展示会場に搬入だけの状態で、日の目を見られずに終わった事です。そして今一つ嬉しかったことは、入院中のコースの皆様方からの暖かいお気遣いでした。クラスを代表して斉藤科長始めお三人の方々が、遠路一日がかりで、お見舞いに駆けつけて頂きました。又、クラスの方々からの度重なるお電話での慰めや、励ましのお言葉を頂いた事です。

そして、病が癒えて、復学がかない、登校当日には「もう大丈夫なの！」大変だったね - ！」「がんばってね！」.....次、次とお声をかけて頂き、長期入院で、学園に戻った時の心細さやら、寂しさからの不安定な気持ちがおかげさまで、雲散霧消いたしました事は、ありがたかったです。ありがとうございました。

今現在は、リハビリの傍ら登園し学習とクラブ活動に多少の不自由さを抱えながらも、心持ちは、休学前に復帰し、臨んでおります。この事で、コースの皆様方、班の方々の“友愛”精神に身をもって触れ、感慨に耽っている今日この頃です。この場をおかりしまして、改めてお礼申し上げます。

## 初体験の学園生活

36番 宮島 昭夫

起立 校歌斉唱 これは何時の日以来だろうかと思い出せない位に新鮮であり、驚きでもありません。埼玉に住んで約45年、埼玉の事をもっと知り、楽しく語り会える仲間作りを楽しみに入園を許されましたが、一般に日本史での興味は、神社、仏閣、観光地として残る生活様式蹟等であると思いますが、「郷土をしのぶ」コースでの講義、史跡見学はまさに、庶民生活様式の変遷、郷土の発展史であり、興味深いものでした。治水についてのある地域での話は、講師よりも詳しいと思われる人の話があり、これこそ「郷土をしのぶ」コースのメンバーかと思いました。カリキュラムが多彩な事も驚きでした。合同学習に於ける「救急救命方」の受講後のある日に南浦和駅に於いて、年配の男性がうつぶせに倒れていて、若者が付き添って係員を呼んでいる光景に遭遇し、再度、別の日に講習を受けようとの思いにさせられました。

本田京子氏、茂木健一郎氏等の著名人の講演はテーマが有って無いような、巧みな話術に引き込まれ印象深いものでした。施設見学後の誰が誘うでもなく、すぐに纏まる食事会？は自分と違う職種を生業としてきた人の、博識高いメンバーとの語らい、それは楽しくあり、これからも「郷土をしのぶ」コースのメンバーと続けられたらと思っています。初めての学園生活で学んだ事、卒園者が、それぞれの地域で活躍されているボランティア活動の講義等は、今後地域で参加し役立てたいと思っています。

## 太極拳クラブ 合宿練習の思い出

37番 森田 啓資

10月26日(月)・27日(火)、小鹿野町営国民宿舎「両神荘」に於いて、学園祭の慰労・メンバー相互間の親睦・太極拳技量の向上等を目的に行った太極拳クラブの合宿練習は、部員19名中13名が参加し、非常に有意義で楽しい思い出となりました。

第一日目は、名物の手打ち蕎麦で昼食を済ませた後、練習開始までの自由時間に、隣接した「神怡館」(埼玉県・中国山西省 友好記念館)を見学し、太極拳の底に流れる中国文化の理解に努めることが出来ました。

練習は、久しぶりに、準備運動とも言うべき「八段錦」から始め、学園祭で表演した「不老拳」(第1式～第9式)へと進みました。この辺りまでは、全員が各人それなりの自信とゆとりの表情でしたが、未知の分野(第10式以降)に進むにつれ、師範の動作を真似しようにも体が自由に動かず、太極拳の難しさを実感しました。

温泉で練習疲れを癒した後の懇親会は、和気藹々・爆笑また爆笑の連続で、参加者全員が永年の知己の様な状態となれ、特に、他クラスのメンバーの顔と名前が完全に一致したのみならず、夫々の性格までも良く分かり合えたことが大きな収穫でした。

第二日目は、抜けるような青空の下で、午前中に「神怡館」前庭での屋外練習を行いました。朝から温泉で心身をリラックスさせた効果もあってか、練習中の爽快な気分は今でも忘れられません。

## 「仲間との出会いを大切に」

38番 八千代 幸男

思い起こせば、6月23日の第一回施設見学で、行田の忍城、さきたま史跡博物館、古墳群を巡った後でありました。同じ班の松野さんの車で何人かが便乗させて戴いた帰り道、小生は行田の街並みの蔵作り等を散策しようと思い、途中下車を依頼していたところ同乗の何人かが「今日は暑いので暑気払いして帰りたいな」「やはり今日はビールだね」との会話がなされていました。これは聞き逃す訳にはいかぬと思い、会話に加わり結局同乗の皆さんと暑気払い会となり、松野さんも一度帰宅された後参加、大いに盛り上がった次第でした。

それがきっかけとなり、その後も何かと理由をつけて、飲み会&カラオケ会は他班の方の参加も含め、和気藹々と続いております。飲み会での会話等で垣間見るメンバーの皆様各々の趣味の広さ、博識ぶりには驚かされるものがあり、且つ地域に於けるボランティア活動等への意識も極めて強く、敬意を表するものです。私自身も何がしかの地域貢献が出来ないものかと思案のところ、町内自治会に於いて防犯防災パトロール隊結成の話が持ち上がったことでその結成に参加。9月より夜間パトロール実行に至っています。

現在、見沼田んぼ内での借農園においての野菜作りや、地域での史跡めぐり、ゴルフクラブ、料理教室等に参加していますが、今後ボランティア活動として何を為すべきか、何が出来るのかメンバーの皆様の助言、指導も仰ぎ模索していきたいと思っております。

## 「葛藤の心を持つての学園生活」

39番 吉田 秀雄

時の流れは、速いものです。4月17日の入学式から、この伊奈学園での学園生活をスタートさせたのですが、もう一年が過ぎさり、3月15日に卒業式を迎えようとしています。入学式でいただいた学習内容をみてびっくりしました。募集内容によると、授業日は、月曜日となっていました。それを信じて応募したのですが、半分以上の授業日が、火曜日になっていました。火曜日には、さまざまな計画をしておりました。入学式を終えた時、この一年間、この学園で学園生活を続けるべきか、どうか悩みました。いっしょに入学式に出席した知り合いのなかには、火曜日が授業日になっていることから、どうしても計画を変更することが出来ないと言う事で退学していきました。自分もどうするか考えぬきました。4月20日のオリエンテーションの時には、この問題での質問が多数ありました。納得できることではなかったのですが、火曜日の行事をあきらめ、入学することにしました。このような葛藤の気持ちを持つての学園生活が、スタートしました。自分は、埼玉生まれではないのですが、郷土を知ると言うコースで、第二のふるさとである埼玉のすばらしさを知ることができました。

さらに、コースのなかで、いろいろな人達と知り合いになりました。さまざまな行事に参加して、見聞をひろげることができました。そういう意味では、大変よかったと思っています。

とにかく、いろいろな人達にお世話になりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 楽しかった

40番 吉野 利美子

「いきがい大学に行くよ！友達が欲しいから / 」そんな不遜な理由で応募。

マニュアル類は読まない。思い込みで始めてしまう生来のおっちょこちょいから、大学の意図は何かを理解する前に学生生活を初めてしまった。よって、趣旨を説明されても大本のところを理解していない。この学校は一体何をさせたいんだろうと長い間首を傾げていたから、ちぐはぐな言動がありましたねえ。今は多少理解。

さて、郷土のクラスメイトには（他クラスもそうかも）優れものが大勢。澄まし顔だけれど多彩なスキルを持っている事は直ぐに分かった。

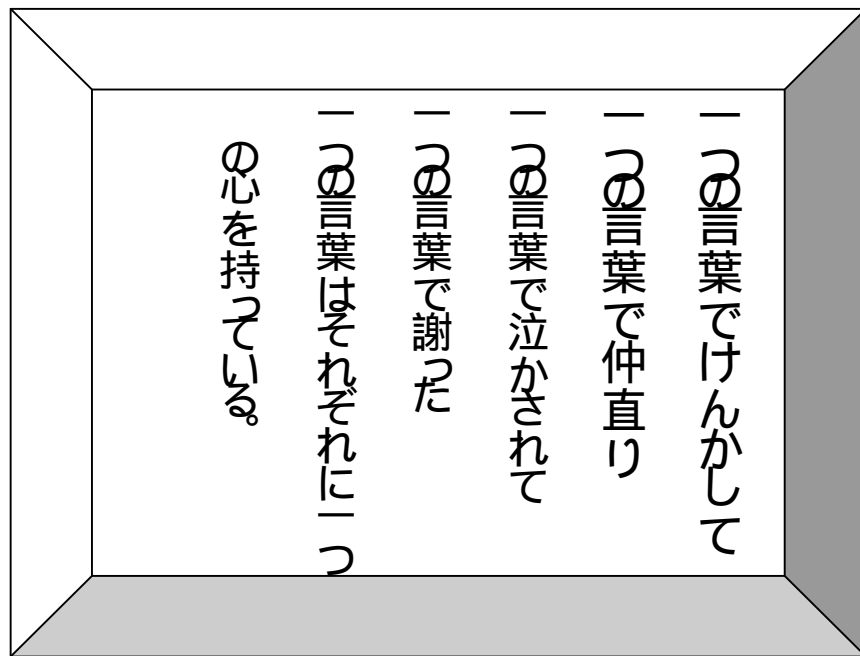
これア大変だ！私ってルーキーじゃないのおと、遅ればせながら恐れ入っている。

昔は初老と呼ばれた年齢であるが、今はシニアなどと洒落て言う。

その洒落た言い方が実に似合う若々しい級友たちは、素敵に元気、知識が旺盛、フットワークが軽い、驚くべき体力をもっていて（私には無い）ルーキーの私から見たら魅力がたっぷり、憧れもあり。なので、ちょっと照れくさいが言ってしまうおう。郷土を知るコース、クラスメイト38名に

楽しい時間をありがとう。またね

落語による「上手な話し方と聞き方」教室



落語による「上手な話し方と聞き方」教室で、落語家の三笑亭笑三師匠が披露してくれたフレーズです。このフレーズを初めて触れた時に、みなさんは何を思い出しますか。学校でのケンカの仲直り、あるいは「夫婦ケンカ」の仲直り、いろいろと受け止め方があると思いますが、この言葉の奥には相手を思いやる気持ちが含まれていることを忘れてはいけません。

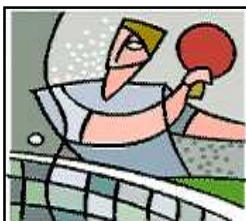
私達の長い人生も、このフレーズの繰り返しのような気がします。卒業が近づいてくると三笑亭笑三師匠の「上手な話し方と聞き方」教室の落語を懐かしく思い出します。

# クラブ活動等案内

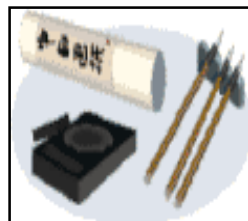
昨年の5月26日専科コース第一期学生自治会を立ち上げました。自治会クラブとしては会員が5名以上いることが条件で、次のクラブを立ち上げ卒業まで楽しく各コースの部員と楽しく交流を深めてきました。郷土を知るコースでは天谷さんを中心に中山道ウォークも誕生しました。これからも継続して実施されますのでみんなで参加しましょう。



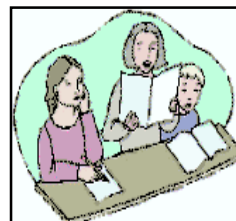
グラウンドゴルフ



卓球



墨彩



朗読



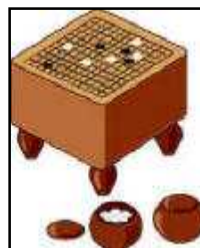
太極拳



陶芸



パソコン



囲碁



中山道ウォーク

平成21年度いきがい大学伊奈学園一年生課程郷土を知るコースの授業カリキュラム

時には文集を開いて授業風景を思い出して下さい。「[学習](#) [学生自治会活動](#) [クラブ活動](#)」の3つを通して、いきがいと活動の喜び、仲間づくり等をこの1年間で行って来ました。それを忘れずに地域で活動しましょう。

## 学園祭プログラム

いきがい大学伊奈学園一年生課程の最大のイベントは、何と言っても「第20回いきがい大学伊奈学園・学園祭」でした。私達の専科「郷土を知るコース」は、7月初めに学園祭では「振込め詐欺防止」寸劇をすることに決めました。全員参加で臨むことにして7月中にそれぞれのポジションを決めて8月から約3か月にわたって練習を重ねてきました。10月15日のリハーサルで最終調整を行い、本番の初日に皆様の前でご披露するに至りました。演技力不足は否めませんが、私達の寸劇が「振込め詐欺防止」キャンペーンに少しは役立ったのではと思っています。

また、学園祭展示会に「郷土を知るコース」からは8名が日頃の努力の結晶として、個性ある作品を出品して会場を飾りましたので紹介します。

## 専科コース第一期学生自治会役員等名簿

郷土を知るコースから自治会役員、ホームページ委員、イナ・ヴォイス委員、学園祭実行委員が選出されました。専科コース運営にあたって先頭に立って支えていただいた役員のみなさん、また、卒業後、校友会役員として活躍される皆様に感謝いたします。

## グラウンドゴルフクラブ活動報告

**立上げ** 始業式後のクラブ活動の希望調査ではグラウンドゴルフ希望者は16名でしたが、5月12日のクラブ結成に参加したのは13名で、そのうち経験者は2名でした。経験者に正・副部長をお願いして組織役割分担を決めてグラウンドゴルフクラブは正式にスタートしました。

- ・健康づくりコース4名 大友 武、田中里子、野本達子、原井克之
- ・郷土を知るコース4名 大阿久聖一、岡村昭則(庶務)、北氏和雄、吉田秀雄
- ・まちづくりコース5名 伊藤八重治、大森 勇、小金沢憲男(部長)  
田島許子(副部長)、平林知人

**練習日** 授業終了後、4時半までの活動ですが、専科コースの開校決定が一昨年未だったためグラウンド確保もままならず、ゲートボール場も使って活動しました。初めての人が多いため、グラウンドゴルフのテキストを作成し、それを参考にしながら全員で楽しく和やかに活動してきました。活動回数も少なかった中でも、少なからぬ部員の方々のホールインワンを経験するなど楽しい思い出となりました。一学期終了後、学園食堂でお茶会を、12月8日公開学習終了後、忘年会を開きました。卒業後は伊奈学園校友会関係者で開いた先輩達のグラウンドゴルフ愛好会に参加し、伊奈学園連協大会参加も考えようということになりました。1年間、皆様にお付き合いいただいたことに心より感謝申し上げます。  
有難うございました。(岡村)



伊奈学園専科一期生

グラウンドゴルフクラブ

テキスト



平成21年5月

## 郷土を知るコース・グラウンドゴルフ部員の成績表

|                  | 1 | 2   | 3 | 4 | 5 | 6   | 7   | 8   |    | ホールワン● | 計  |
|------------------|---|-----|---|---|---|-----|-----|-----|----|--------|----|
| <b>H21.7.14</b>  |   |     |   |   |   |     |     |     |    |        |    |
| 吉田秀雄             | 4 | 4   | 4 | 2 | 3 | 4   | 4   | 3   | 28 |        | 28 |
| 岡村昭則             | 4 | 4   | 4 | 3 | 5 | 3   | 3   | 4   | 30 |        | 30 |
| 北氏和雄             | 4 | 2   | 3 | 2 | 3 | 4   | 5   | 2   | 25 |        | 25 |
| 大阿久聖一            | 3 | 4   | 3 | 3 | 4 | 2   | 3   | 3   | 25 |        | 25 |
| 吉田秀雄             | 3 | 4   | 4 | 3 | 3 | 3   | 4   | 4   | 28 |        | 28 |
| 岡村昭則             | 3 | 3   | 3 | 4 | 2 | 4   | 3   | 4   | 26 |        | 26 |
| 北氏和雄             | 2 | 3   | 3 | 3 | 2 | 3   | 3   | 3   | 22 |        | 22 |
| 大阿久聖一            | 4 | 3   | 2 | 4 | 4 | ● 1 | 3   | 4   | 25 | -3     | 22 |
| <b>H21.9.8</b>   |   |     |   |   |   |     |     |     |    |        |    |
| 岡村昭則             | 3 | 3   | 5 | 5 | 4 | 3   | 3   | 2   | 28 |        | 28 |
| 吉田秀雄             | 4 | 3   | 4 | 4 | 4 | 4   | 3   | 2   | 28 |        | 28 |
| 大阿久聖一            | 3 | 3   | 3 | 4 | 3 | 2   | 3   | 2   | 23 |        | 23 |
| 岡村昭則             | 4 | 4   | 5 | 4 | 3 | 4   | 4   | 3   | 31 |        | 31 |
| 吉田秀雄             | 3 | 4   | 3 | 3 | 4 | 3   | 3   | 3   | 26 |        | 26 |
| 大阿久聖一            | 3 | 2   | 6 | 3 | 2 | 3   | 2   | 3   | 24 |        | 24 |
| 岡村昭則             | 3 | ● 1 | 4 | 3 | 4 | 4   | 5   | 3   | 27 | -3     | 24 |
| 吉田秀雄             | 4 | 4   | 3 | 2 | 5 | 4   | 3   | 4   | 29 |        | 29 |
| 大阿久聖一            | 3 | 3   | 2 | 3 | 2 | 2   | 3   | 3   | 21 |        | 21 |
| <b>H21.9.15</b>  |   |     |   |   |   |     |     |     |    |        |    |
| 岡村昭則             | 3 | 3   | 4 | 4 | 4 | 4   | 4   | 3   | 29 |        | 29 |
| 吉田秀雄             | 2 | 4   | 4 | 4 | 2 | 3   | 2   | 3   | 24 |        | 24 |
| 大阿久聖一            | 4 | 3   | 3 | 2 | 3 | 2   | 3   | 4   | 24 |        | 24 |
| 岡村昭則             | 3 | 2   | 6 | 3 | 4 | 2   | 3   | 4   | 27 |        | 27 |
| 吉田秀雄             | 2 | 4   | 4 | 6 | 5 | 5   | 4   | 5   | 35 |        | 35 |
| 大阿久聖一            | 4 | 3   | 3 | 4 | 2 | 2   | ● 1 | 2   | 21 | -3     | 18 |
| 岡村昭則             | 3 | 2   | 5 | 3 | 3 | 3   | 3   | 2   | 24 |        | 24 |
| 吉田秀雄             | 5 | 4   | 5 | 3 | 4 | 3   | 2   | 2   | 28 |        | 28 |
| 大阿久聖一            | 3 | 2   | 2 | 2 | 2 | 3   | 2   | ● 1 | 17 | -3     | 14 |
| <b>H21.11.30</b> |   |     |   |   |   |     |     |     |    |        |    |
| 吉田秀雄             | 4 | 3   | 4 | 3 | 2 | 3   | 3   | 4   | 26 |        | 26 |
| 岡村昭則             | 3 | 5   | 3 | 3 | 4 | 2   | 4   | 2   | 26 |        | 26 |
| 北氏和雄             | 3 | 3   | 3 | 3 | 4 | 3   | 3   | 3   | 25 |        | 25 |
| 大阿久聖一            | 3 | 2   | 3 | 4 | 4 | 3   | 4   | 2   | 25 |        | 25 |
| 吉田秀雄             | 3 | 3   | 3 | 4 | 3 | 3   | 3   | 3   | 25 |        | 25 |
| 岡村昭則             | 3 | 2   | 6 | 3 | 3 | 4   | 3   | 5   | 29 |        | 29 |
| 北氏和雄             | 3 | 3   | 2 | 2 | 3 | 4   | 3   | 2   | 22 |        | 22 |
| 大阿久聖一            | 3 | 3   | 3 | 2 | 2 | 3   | 3   | 4   | 23 |        | 23 |
| 吉田秀雄             | 5 | 2   | 4 | 2 | 2 | 3   | 3   | 3   | 24 |        | 24 |
| 岡村昭則             | 4 | 3   | 3 | 4 | 4 | 2   | 6   | 2   | 28 |        | 28 |
| 北氏和雄             | 4 | 2   | 3 | 3 | 3 | 2   | 3   | 4   | 24 |        | 24 |
| 大阿久聖一            | 4 | 3   | 3 | 3 | 3 | ● 1 | 2   | 4   | 23 | -3     | 20 |
| <b>H21.12.21</b> |   |     |   |   |   |     |     |     | 0  |        |    |
| 吉田秀雄             | 5 | 4   | 4 | 3 | 3 | 3   | 3   | 3   | 28 |        | 28 |
| 岡村昭則             | 4 | 3   | 4 | 4 | 3 | 3   | 3   | 5   | 29 |        | 29 |
| 北氏和雄             | 3 | 4   | 2 | 5 | 3 | 4   | 2   | ● 1 | 24 | -3     | 21 |
| 大阿久聖一            | 2 | 4   | 3 | 3 | 3 | 2   | 5   | 3   | 25 |        | 25 |
| 吉田秀雄             | 2 | 3   | 4 | 3 | 4 | 4   | 4   | 3   | 27 |        | 29 |
| 岡村昭則             | 5 | 3   | 3 | 2 | 5 | 3   | 3   | 4   | 28 |        | 28 |
| 北氏和雄             | 3 | 3   | 3 | 2 | 3 | 2   | 2   | 2   | 20 |        | 20 |
| 大阿久聖一            | 3 | 3   | 4 | 2 | 3 | 2   | 3   | 2   | 22 |        | 22 |

## 卓球クラブの活動 17人の素晴らしい団結魂

この文集の編集日程の関係で、2月に予定している卒業合宿に関しては残念ながら紹介することはできませんが、17人(注)との素晴らしい出会いがあり、楽しく且つ実りの多い1年間のクラブ活動であったと振り返ることができます。

それは、17人一人ひとりが卓球を楽しむための様々な工夫や親睦を深めるためのアイデアを積極的に提案し、それを実現するために気持ち良く取り組んでくれた結果です。本当に誇れる17人です。卓球クラブを選択してよかったと、心底思います。「メンバーの一人ひとりが卓球を楽しみ、メンバー間の親睦を図る」とした目標を達成することができました。

この達成感は、筆者だけでなく、17人共通のものであると確信しております。掲載する写真は、昨年11月の高尾山ハイキングと12月の忘年会のものですが、これらの写真からも上記想いは感じ取っていただけるものと思います。 4月

以降も、この1年間で築いた絆を継続できることを願っております。

(注)卓球クラブには当初18人が在籍していましたが、学期途中で1人が学園を都合で退学したため、17人となりました。(熊倉 晃)





## 墨彩クラブ活動報告

立上げ 入学当初はクラブ発足規定の人数（10人）に達せず、立ち上げが危ぶまれましたが、5月末には8人の同志が集まり、学園のご理解のもと、専科1期生の「墨彩クラブ」が誕生しました。

「メンバー」 8名

健康づくりコース2名、

郷土を知るコース1名、松野吉光さんが参加しています。

まちづくりコース5名、

墨彩画の経験者は少数ですが、絵手紙や水彩画など絵筆に縁のある人も多く、

「墨彩画」に魅了されて集まったメンバーです。

「指導者」 伊奈学園10期生の堀井正信先生にご指導をお願いしています。

活 動 筆の持ち方・墨の濃淡の作り方等、入門編からスタートし、先生直筆によるお手本を元に練習しています。「練習あるのみ。いつか、ある日、突然、フツと思う様に筆が動くから・・・」という先生の励ましに支えられて、指導のもとで頑張っています。10月の学園祭には沢山の作品を出展しました。

卒業後の方針 伊奈学園校友会連協の先輩達の墨彩クラブに参加して活動を続けていきたいと考えています。



## 朗読クラブ活動報告

立上げ 5月20日の朗読クラブ結成に参加したのは17名いましたが、その後2名が、他のクラブに移り、最終的に15名となり、役員を決めて正式に発足しました。部員は次の通りです。

健康づくりコース6名 小野正子、川口昭士、川田なみ子、鎮目二三子、平田裕康、若林今朝六(部長)

郷土を知るコース5名 伊藤昭子、今村信博、梅田博(副部長)、川邊次郎、吉野利美子

まちづくりコース4名 市川三重子(会計)、関利雄、高橋幸子、山岸米子

活動内容 松浦あやこ先生に指導をお願いして、授業終了後4時半まで活動しました。授業が現地研修のときはクラブ活動がないため、なかなか活動が出来ませんでした。10月21日の学園祭まで夏休み中の5回を含め13回、学園祭を目指して井上ひささんの「なのだソング」と落語の「餅屋の禅問答」を一生懸命練習しました。学園祭ではそれぞれ練習の成果を発揮し、それなりによくできたのではないかと思います。初めのうちは朗読なんて本を読むだけのことと簡単に考えていたのですが、ただ読むのではなく、話すように読みなさいと言われ、次から次に直されてしまう有様でしたが、厳しい練習の結果からか、だんだん正しい朗読になって来たような気がしています。

しかし、朗読の奥の深さにただただ驚いている状態です。一学期終了後、学園食堂で暑気払い、学園祭の打ち上げを大宮駅近くで行いました。卒業後、伊奈学園校友会の朗読クラブに入るか、専科1生だけの朗読クラブを存続するかはまだ決まっていない状態です。(梅田)



# 太極拳クラブ 活動報告

## 立上げ

5月12日のクラブ編成協議には15名が参加し、そのうち経験者は1名(幸いにも準師範資格者)のみでした。

組織・役割分担等を決めて太極拳クラブはスタートしましたが、5月18日の第一回練習日には19名が参加し、現状の体制となりました。

### 【メンバー】(学籍名簿順)

健康づくりコース 9名

新井 貞男(〒) 大橋 順子 柴原八州子 高田忠良 西村美智子  
塙 恒雄 星澤 恵美子 吉田 順子 吉橋 佳子( )

郷土を知るコース 5名

安藤 允浩 五反田 龍子 小林 久美子( ) 中島 和子(¥) 森田 啓資( )

まちづくりコース 5名

石井 一好 小林 正子(〒) 蔦川 忠義 福島 徹也( ) 吉澤 幸男

(注) 部長、 副部長、 ¥ 会計担当、 〒 連絡担当、 実技指導

## 活動状況

メンバー唯一の太極拳経験者 吉橋佳子準師範(けんこうづくりコース)による実技指導のもと、挨拶(ニハオ)に始まり挨拶(シシエ、ツァイイ)で終わる太極拳の初歩の初歩からを、授業終了~4時45分の間、練習しました。

学園祭での発表を目標に、全員で和気藹々ながらも熱心に「八段錦」と「太極拳24式(白鶴の舞)」(ただし、入門部分を中心)に取り組み、学園祭では、「不老拳」(24式の前半部分)を無事に表演できました。

### 「八段錦」とは

“八種の優れた養生法を集大成したもの”という意味です。  
血液の循環をよくし、内臓の働きを整える中国古来の養生法の一つで、特に呼吸法を意識することが大切です。

### 「太極拳24式(白鶴の舞)」とは

太極拳は、中国において気功の考え方に基づいて、伝統的な武術から編み出され広く普及しています。

1956年中国において、主として初心者向けに制定された「簡化二十四式」を基に、楊名時老師が日本人向きに保健を重視して創作したもので、その特色は以下の4点です。

柔軟性(心と体を柔かく) 連続性(流れるように)  
統一性(悩み事を忘れて) 円運動性



さらに、メンバーの親睦と基礎体力の増進を図るため以下の行事を行いました。

10月26～27日 小鹿野町「両神荘」での合宿練習・懇親会  
11月16日 岩根山～日本の里ハイキング  
12月08日 大宮「徳樹庵」での忘年懇親会  
01月11日 大高取山～ゆうパークおごせハイキング  
02～03月 ハイキング・懇親会等を計画中

なお、卒業後の方向については、  
未だ（1月19日現在）未定ですが、近日中に  
メンバー全員の会合を開き決定する予定です。



## 陶芸部の報告

専科一期陶芸クラブ

陶芸クラブはスタート時に花の乙女1名に腱鞘炎で逃げられたが、残りの男ばかりの9名が小沢部長の下、何とか無事に卒業まで活動できた。途中、斎藤氏が思いがけぬ利き腕の故障で不便な作陶を強いられたが脱落せずに頑張った(先生の助け?もあり...)同じように作品を作り上げた。

窯入れは3回しか出来なかったが、木目角皿、輪花鉢、茶碗、湯呑、ぐい呑、丸皿、徳利、織部皿などの作品が出来上がった。しかし、各人各様ながら満足感はその所で反省点や悔しい気持ちの方が強かったのではないだろうか。なにしろ先生の指導は月に2回なので何もかも急ぎ足で通り過ぎた感じであり、基礎の土捏ねもほんの僅かしか体験できなかったが、先生にすれば1年間なので出来るだけ多くの作陶を経験させようとの親心だったのである。しかし、我々の思いとしては何もかも中途半端な成果だったような気がする。

何しろ全員が初心者なので全てが初めて、なんと土とは扱いにくいものか...、まるで女性みたいじゃないか...というのが率直な感想?(別に女性を非難しているのではないのであります、感嘆しているのであります)。電動ろくろを回していると、筒形で回っていた粘土が急に、くしゃくしゃとなってしまうと、「せんせ〜え」と助けを呼ぶのはまるで幼稚園の生徒みたいだ、と感じたものである。

それでも飽き足らぬ思いが強く、多くが更にクラブを続行したいとのことで今後もクラブ継続を決意、但し人数確保の為もあり同じく卒業する19期のクラブと合同で今後も作陶に励もうということとなった。皆さん、二年後、三年後の我らの作品にご期待あれ!!

( K記 )



# パソコンクラブ活動状況

発足して7カ月目のパソコンクラブですが、夏休み3回の臨時活動を含め計10回の相互学習を行ってきました。年間学習計画に基づき確実に個人のパソコン技能は進歩してきています。ワードの中級技能をマスターしてエクセルに入ったところです。

活動は経験者と初心者を織り交ぜた班を結成し、4つの班ごとに技術の課題や操作方法の議論などで切磋琢磨して相互に技能を磨いていっているやり方です。技能は勿論ですがクラブ員相互のコミュニケーション作りにも役立っています。



グループ発表の様子

写真にスポットライトを当てる手法の説明

12月には、班ごとに討議を重ねホームページ原稿を作成しました。更に原稿発表会を開催しました。作成技術・手法を主に4つの班が発表をし、他の班の人との質疑応答を行いました。この試みは色々な面での個々の気付きが得られたものとクラブ員一同満足しています。

クラブ員同士で教え合い、疑問点はグループ討議をし、表現したいことで解らなければ皆で“ああでもない……こ

うでもない……”と意見を出し合いながら技能を磨いていくやりかたは本当の意味でのクラブ活動ではないかと思っています。専科という1年課程での短期間でワードとエクセルの中級技術を習得できるのは、このようなやり方の成果だと皆で自負しています。

それでは4つの班の紹介をそれぞれの班で作成した内容で行います。

# 1班の紹介

パソコンに初めて触れる人、少しできる人、かなりの経験者などスタート時はいろいろでした。ワード概論から始まり、今はエクセルに入りました。専科コースは一年間の短い期間ですので、基本をしっかり勉強しています。

パソコンは楽しいですね。でも、時々思わぬ動きに惑わされます。どうしてこうなるのか、みんなで相談しながらワイワイ楽しくやっています。今は、時節柄年賀状の作成にトライしています。



班のメンバー同士で教え合っています

## <班員から一言>

**大井昭子（郷土を知るコース）**

基本的なものを再確認しながら、さらにバージョンアップしたいと思います。

**本郷稔夫（郷土を知るコース）**

これまでワードが中心でしたが、エクセルは大変使い勝手の良いソフトですね。いろいろ試してみたいと思います。

**岩松忠子（郷土を知るコース）**

今年は年賀状をパソコンで作成します。文面はどうかできました。かわいいトラのイラストを探しています。文集の原稿もパソコンで作ります。



**星野勇三（まちづくりコース）**

パソコンは奥深いですね。まだまだ始めたばかりですが、継続は力なりです。がんばります。

**西村洋子（健康づくりコース）**

パソコンは難しいですが、楽しいですね。基本をしっかり学びたいと思います。

**鈴木暢子（健康づくりコース）**

パソコンはいろいろなことができるのですね。自分の打った文章が印刷され、感激しました。

## 2班の紹介

2班全員

野村部長のご指導は、クラブ活動時間だけでなくメールでの資料送付等含め丁寧且つ多岐に亘るものでひたすら感謝申し上げる次第です。



全員が揃っていませんが2班メンバーです



<班員から一言>

**八千代 幸男（郷土を知るコース）**

右の画面は、実に楽しそうにパソコンをやっている表情が伺えますが小生は、悪戦苦闘しております。パソコン機能全体の三割位しか使えてない状況と思いますが、図案入りポスター等は何とか出来ました。年賀状も作成するぞ。

**斉藤志津子（健康づくりコース）**

楽しめる段階になりたいのが、心境で覚えが悪くて困っています。

**高平 保（まちづくりコース）**

パソコンを始めてかなりの年月が経ちました。初歩的なことも自信がありません。伊那学園のパソコンクラブおよび IT アップ講座で研修を重ねる度にパソコンの冥利を感じています。習ったことは確実に習得しようと思っています。



# 3班の紹介



私たち第3グループにスポットライトを当てました

## <班員から一言>

### 浅見法子（郷土を知るコース）

パソコンは勉強しても、勉強しても、奥が深く解らない事ばかりですが課題をクリアした時の達成感は、たまらなくうれしいです。クラブ活動での学習時間は短く、一つの作品を完成するのは、容易ではないが解らない事は、教えて貰いながら何とかついて行っていると言う状況です。これからの課題は、エクセルを勉強して、家計簿がつけられるようになりたいと思います。

### 北山秋吉（まちづくりコース）

クラブの仲間とともにパソコンを学び活用してイナヴォイスに参画するのが目標です。

### 宮崎素子（まちづくりコース）

初めて運動会のお知らせを図入りで完成させた時は感激でした。今はいろいろ大苦戦しています。

### 柿沼政夫（まちづくりコース）

パソコンクラブはX P、自分の家ではビスタ。苦勞してますが、新しい仲間と一緒に勉強でき楽しく活動しています。

# 4班の紹介



この日は郷土を知るコースのみでした

私達4班は健康コース吉澤愛子、郷土を知るコース菅原昭夫、高橋俊寿、橋本進、まちづくりコース利根川儀金の5名の構成です。初心者からある程度知識のある者までその知識はまちまちですが、野村部長及び築田先生の指導のもとワードの技能習得に努め何とかワードをマスターし、エクセルに挑戦しているところです。

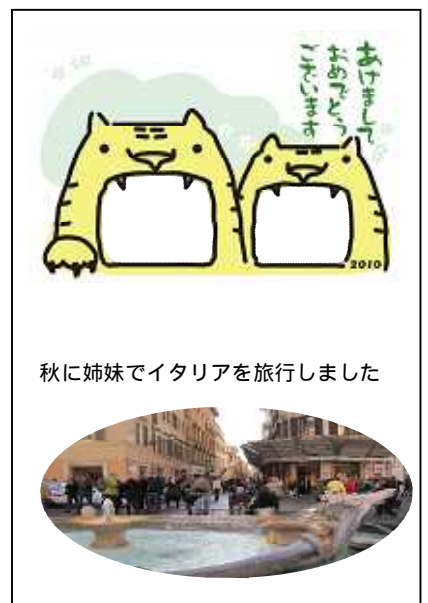


(活動情景)

## <班員から一言>

### 吉澤愛子(健康づくりコース)

ワードの経験が皆無に等しい私が、簡単ではありますが地図を描いたり、写真を挿入したり・・・物凄い進歩です。これもひとえに指導して下さる部長、部員相互の助け合いの賜物と感謝しています。この習得したワードの技能を応用し、オブジェクトや外国旅行した時の写真を挿入したオリジナルの年賀状を作成しました。



秋に姉妹でイタリアを旅行しました

吉澤さんの年賀状作品

### 高橋俊寿（郷土を知るコース）

今まで全くの我流で必要に応じて教えて貰いやってきた関係で、テキストを読みながらの作業が一苦勞、また扱う機種も違い戸惑いの連続でした！ここに来て少しは慣れやっとなら皆さんに付いていける様になったのではないのでしょうか・・・。

今後は、一つひとつ覚えたことを実践し、忘れない様にして行きたいと思います。

### 橋本進（郷土を知るコース）

野村部長指導のもとに各班初歩からワードを練習し、1．基本的な文書の作り方、2．表を使って実用的文書を作る、3．人目をひくポスターを作る、4．見栄えのよい案内状を作る、5．オブジェクトを使いこなす練習をしました。

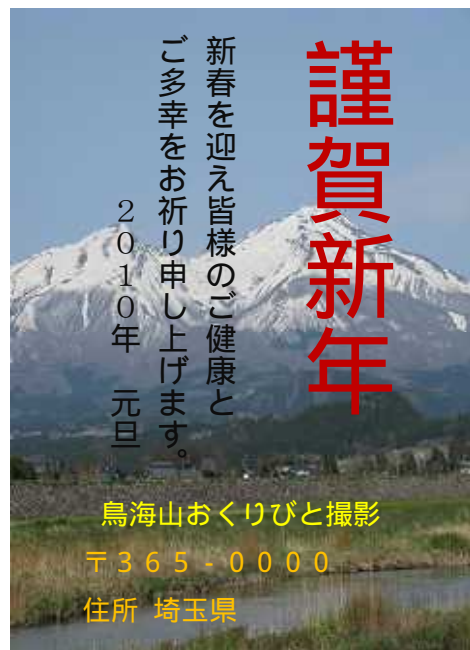
なかなか思うようにいかなかったが練習することによりだんだんわかってきました。

次にエクセルでの文章作成に入り、わかり易い説明で初心者でも理解することができました。パソコンは練習あるのみを実感しました。

### 菅原昭夫（郷土を知るコース）

ワードを文書作成としてしか使用してなかったのでテキストと野村部長の丁寧な解説と指導及び築田先生の指導のもと夏休み3回の特別授業も受けワードの機能をなんとか理解できました。更にエクセルで、ワード同様見栄えのする文書の作成を習いました。引き続きエクセル本来の機能の習得を目指して学習しているところです。成果としてOB会の旅行記をワードの機能を利用し写真の挿入など見栄えのする文書に仕上げることができOB会の皆さんに喜ばれました。

菅原さんの年賀状作品



# 囲碁部活動報告

平成21年度 専科コースのクラブ編成協議に於いて、「囲碁部」希望者10名で発足しました。その後、出入りもあり、5月26日から9名で活動に入りました。

メンバーは 健康づくりコース 2名 鈴木玉太郎、中村允彦  
郷土を知るコース 3名 相場恒夫、岡田時雄、宮島昭夫  
まちづくりコース 4名 大島 修(部長)石井三代子、久保田圭子  
小山とし

活動状況 授業終了後16時30分まで、有段者の大島部長、指導のもとで経験者5名、初心者3名で活動をはじめました。初心者3名は碁石を並べる事も初めての状況からでした。経験者が指導し、最初は戸惑ってはいましたが、2ヶ月後くらいからは、対局が出来る迄に上達しています。

対局方法は点数持ち点で対局し、勝ち、負けて点数の増減により、対局を楽しんでいます。学園祭では、伊奈囲碁会の特別教室にも飛び入り参加し、有段者に挑戦し、勝敗は別にし、他流試合も楽しい思い出です。初対面で碁力も、不明の者同志が纏まるのかと若干の不安が有りましたが、“大人”の集まりでは全くの取り越し苦労でした。

活動し初めて、3回目には、懇親会の発案もあり、上尾にて、飲める人も飲めない人もそれなりに楽しい集いとなりました。囲碁は比較的場所も選ばず、年齢、性別関係なく、少人数でも楽しめて頭の体操にもなり、体力的にも未永く楽しめる国際的なゲームです。



対局風景



囲碁クラブメンバー

## サークル 中山道ウォーク

天谷 範夫

いきがい大学伊奈学園の、学園生活にも少しづつ慣れてきて、何か物足りなさを感じていました。学園での学習の他に、プラス 的な事は出来ないかと考え、中山道の、宿場を中心として、史跡と施設見学を抱き合わせた形で活動しようと考えました。入学時の隣席だった、相場さんと有村さんを後見をお願いして、7月のホームルームの時間に主旨説明をさせていただき、9月から活動する事としました。又、より多くの方に参加していただける様に会員登録とせず、自由参加にしました。結果的にはこの方式で良かった、と思っています。昨年12月までに、まだ3回しか活動出来ていませんが、卒業迄にもう3回(番外も有り)又、卒業以降も継続する予定ですが、逆に続けて欲しい、との応援もあり心強く思うと同時に、みなさんに支持されて、やって良かった、と思っています。中山道ウォークとしては、3月でいったん終了し、4月からは日光街道を中心に活動し、中期的には、大宮以南の中山道や、埼玉県内の市町村を中心としての街巡りや、街歩き、又もう少し距離を広げて群馬、栃木、千葉、茨城、東京なども射程範囲として計画したいとの思いも有ります。(先の話ですが) これからも、いろいろ計画していきたいと思っていますので、気楽に参加していただきたい、と思っています。



鴻巣市 勝願寺にて

# いきがい大学合同入学式

新しい仲間を迎えて

## 平成21年度 彩の国 いきがい大学合同入学式 挙行

4月17日、彩の国いきがい大学伊奈学園第20期生を含む合同入学式がさいたま市文化センターで、12時受付開始、県内8ヶ所の学園の新入生 合計1,235名、学長代理副知事:塩川修氏、埼玉県議会議長:奥ノ木信夫氏、埼玉県老人クラブ連合会副会長:渋谷定夫氏、彩の国いきがい大学校友会連絡協議会会長:石山隆司氏が出席し盛大に行われた。



学長代理塩川副知事挨拶



誓いの言葉伊奈専科宮崎素子氏



いきがい大学職員紹介

冒頭、彩の国いきがい大学学長で上田清司埼玉県知事の氏の祝辞があり、「いきがい大学は高齢化の進む中で昭和51年設立以来27、000名を越える卒業生を輩出してきました。今年からは多くの経験をもつOB講師の制度設けました。後進の指導に当たって頂きたいと思います。

高齢化率20%を超え、年金・医療等、問題になっています。元気で活力のある地域社会作りに活躍して頂く様、期待いたします。いきがい大学では広く仲間を見つけ、多いに仲間との交流を深めて楽しい学園生活を送ってください」と副知事の塩川修氏によって代読されました。

新入生を代表して、伊奈学園専科 宮崎素子さんが「いきがい大学に想いを馳せ、明るい希望に満ちた気持ちでいっぱいです。いきがい大学で勉学に励み、今後の学習を踏まえ、ふるさと埼玉のため、地域社会の一員として貢献できる様、努力してまいります。」と力強い宣誓を行いました。



新しい仲間も緊張気味



記念講演 本多京子氏



受付風景

入学式の後、医学博士で管理栄養士の本多京子氏の記念講演があり、「長寿社会を元気に」「健康寿命を伸ばす」「高栄養の持つ人・低栄養のリスクをもつ人」「年をとるに従ってエネルギー所要量が低下」「タンパク質の所要量は変わらない」「ビタミンやミネラルの所要量もさほど減らない」「高齢者になるとゆっくり消化・消化率には変化なし」等、わかり易いお話で、皆聞き入っていました。

## 新制度の一年制課程専科コースの新たな仲間達が始動

平成21年4月20日

県活3階セミナーホール2

平成21年4月17日に南浦和の「さいたま市民文化センター」で行われた入学式に出席した一年制課程専科コースの新入生が、初めて、伊奈学園に登校して、始業式に出席した。

早速、各科の出席番号上位の3人が受付事務を行い、緊張の中、始業式が開始された。始業式は、午前10時から、山司教務専門員の総合司会で始まり、まず、起立、礼の後、校歌斉唱が始まった。皆さん、校歌を歌うのは始めてで、少し戸惑われていたが、カラオケのスクリーンを見ている内に、歌詞も3番になると声が少し聞こえるようになった。氏家所長の挨拶があり、職員紹介は、各人の自己紹介で行われた。その後、山司教務専門員から学園ガイドに沿って、「学園の沿革、学園の運営、学習内容、学習日程、自治会活動、クラブ活動、学園生活上の留意点など」の説明が行われた。

なお、氏家所長からは、「ご入学おめでとうございます。我々が求めているのは、皆さんがここで学ばれたことをいかに社会に還元していくか。その手法を学ぶ場であり、色んな勉強をする中で、どういうことが自分に相応しいのか。社会の中でどういうふうにして役に立っているのか。今後、年配者のパワーが支えていくという意識を高く持ってもらいたい。一年制課程専科コースは、初めてのことなので、色々やってみないと分からないことがある。その時に、色々なことが出てきたら、学園側も対応するが、皆さん方もご自身で、やれることはやるという意識を持って、取り組んで欲しい。始業式として、かなり厳しい発言であるが、皆さん方のこの一年間の奮闘をお祈りしたい。」との挨拶があった。



緊張の中での受付



校歌斉唱



所長挨拶



職員自己紹介



学園紹介

各科では、昼食後と午後の講義終了後に各教室でそれぞれの人となり分かるように自己紹介が行われた。

午後の講義は、セミ2でITスキルアップ講座総括委員会の築田事務局長(2年制の12期)が「在校生・卒業生のためのクリエイティブ事業」という題目で、「ITスキルアップ(学習の場)、イナヴォイス(活動の支援)、ホームページ(活動のPR)について」の話しがされた。取材していて、今までに聞いたことがなかった話があり、こういうPRを今後ともやる必要性を痛感した。



一年制課程専科コースの新入生の皆さんは、一日、緊張した中での講義で、どこまで理解されたかの問題はあるが、これからの学園生活の基礎知識を習得する時間としては、有意義であったのではないかと。学習は出会いのチャンスであり、同じ気持ちの仲間がたくさんおられるので、楽しい学園生活を送っていただきたいと思う。

## 新たな一年制課程 「専科コース」の創設

彩の国いきが大学では、今後のいきが大学の更なる充実を図るために、その適正配置や学習プログラムについて検討を進めてきました。

その結果、平成21年度からは、一年制学園を8学園から6学園とするとともに、伊奈町と東松山市に設置されている二年制学園に新たな一年制課程の「専科コース」が設置されました。

以前からある一年制学園では、幅広く基礎的な知識を身につけ、社会参加のきっかけづくりを行うことを主な目的にしています。専科コースでは、そうした社会参加を行うための分野を3つの専門科目に分け、分野ごとに目的を絞って、より実践的な学習を行います。

伊奈学園には、「健康づくり」「郷土を知る」「まちづくり」の各

コース。東松山学園には「健康づくり」「郷土を知る」「ボランティア・共生」の各コースがあります。

## 専科コース自治会 総会の開催

去る5月26日、伊奈学園専科コースの自治会総会が開催され、各コースから選出された自治会役員及び予算が承認されました。



挨拶する鈴木玉太郎自治会長

来賓として出席した氏家健也伊奈学園所長からは、次のメッセージが贈られました。

「本日、自治会の役員が決定することにより、これから皆さんによる活動の展開がスタートすることとなりますが、これからの皆さんの意識の持ち方は重要です。」

紀元前の中国の漢王朝成立前の動乱の時代の武将、項羽と劉邦の話をご存知の方もいると思います。

項羽は才気に抜きん出ており、その能力は劉邦よりはるかに優れていました。しかし、天下を劉邦と争い、当初は圧倒的に優勢であったにも関わらず、人心を得ず、次第に劣勢となつて敗れてしまいます。これは、個人の力よりも、結束力の重要性を示しているものです。

また、創業と守成の間答にもあるように、事業を起こすことは難しいが、それを維持発展させていくことはさらに難しいということです。

皆さんで立ち上げた自治会も、特定の役員の方に任せきりであったり、傍観者であつてはい

けません。是非皆さんで協力しながら、その達成度を上げていってください。」



挨拶する氏家伊奈学園所長

自治会総会を終えた皆さんは、午後からの各コースに分かれての授業に臨みました。本格的な自治会活動を始めた専科コースの皆さん。第一期生という期待と不安のあるなか、二年制過程の先輩たちの応援と助言を受けながら、今後の活躍が期待されます。



## 彩の国いきがい大学伊奈学園専科・郷土知るコース 講座一覧

- 1、 4月17日 ・入学式(さいたま市文化会館)
- 2、 4月20日 ・オリエンテーション ・ITスキルアップの必要性、クラブ編成
- 3、 5月12日 ・自治会役員選出 ・クラブ編成会議
- 4、 5月18日 ・人間関係を円滑にする技術・古代東部地域の遺跡とさきたま古墳
- 5、 5月26日 ・自治会総会 ・武蔵武士の起こり
- 6、 6月 1日 ・イナボイスの意義 ・鎮守アジサイ園への道のり
- 7、 6月15日 ・アクティブ研修1 ・中世社会と板碑
- 8、 6月23日 ・行田市郷土資料館 ・さきたま古墳群見学
- 9、 6月29日 ・アクティブ研修2 ・札所の誕生と意義
- 10、 7月 3日 ・公開学習「脳のアンチエンジング」(さいたま市文化会館)
- 11、 7月 7日 ・近年の猛暑と豪雨 ・鎮守アジサイ園見学(指扇氷川神社)
- 12、 7月14日 ・アクティブ研修3 ・バランスアップ講座
- 13、 7月21日 ・県立歴史と民俗の博物館、県立文書館を見学
- 14、 7月27日 ・アクティブ研修4 ・近世城下町の祭礼
- 15、 8月31日 ・始業式、元気なシニアの地域参加・新河岸川の舟運
- 16、 9月 8日 ・今すぐできる震災対策・渋沢栄一と埼玉の近代化
- 17、 9月15日 ・情報とメディアの近代化・救急救命法
- 18、 9月29日 ・水澤寺と旧富岡製糸場
- 19、 10月 5日 ・新現役チャレンジ ・体力測定
- 20、 10月13日 ・第20回学園祭・専科実行委員の取組状況報告
- 21、 10月21日 ・第20回学園祭 郷土知るコース寸劇「振込め詐欺防止」
- 22、 10月22日 ・第20回学園祭
- 23、 11月 2日 ・市民活動の基礎知識 ・近代の治水とレンガ樋門
- 24、 11月17日 ・蔵の街川越の施設見学
- 25、 11月30日 ・氏家所長と関利雄さんの講話・民俗学から見た埼玉の住まい
- 26、 12月 8日 ・公開学習「病は気から」(さいたま市文化会館)
- 27、 12月15日 ・花と緑の振興センターで実習
- 28、 12月21日 ・防犯の街づくり ・川口鋳物師の近代
- 29、 1月12日 ・校友会の設立に向けて・郷土を知るコース集会
- 30、 1月19日 ・地区団体説明5団体 ・郷土を知るコース集会
- 31、 1月26日 ・証券欄から見た経済情勢・俳句を楽しむ
- 32、 2月 1日 ・長寿を全うする食生活・民俗行事を詠む
- 33、 2月15日 ・臨床美術 ・一字一石経
- 34、 3月 1日 ・脳科学について ・民話を学ぼう
- 35、 3月 9日 ・修業式 ・校友会発足
- 36、 3月15日 ・卒業式(埼玉会館)

# 彩の国いきがい大学伊奈学園

第 20 回



# 学園祭

平成21年10月21日(水)・22日(木)

場所 県民活動総合センター (伊奈町)



☆☆ 第19・20期 福祉環境科・ふるさと伝承科・美術工芸科・地域創造科 ☆☆

☆☆ 専 科 健康づくりコース・郷土を知るコース・まちづくりコース ☆☆

●作品展示 10月20日(火) 13:00  
~10月22日(木) 15:00

●演技等発表

— 21日(水) —

◇在校生(専科)演技発表  
10:15~11:30

◇各クラブ演技発表  
14:00~16:45

— 22日(木) —

◇活動事例発表(校友会)  
9:30~11:30

◇在校生(19期・20期)演技発表  
13:00~15:40

◆バザー 12:00~14:00

主 催 彩の国いきがい大学伊奈学園 第19・20期・専科学生自治会  
お問い合わせ TEL 048-728-2299 ホームページ <http://www.olff.net/sid-ina>

## 第20回学園祭 演技発表プログラム（10月21日）

日時：平成21年10月21日～10月22日

場所：県民活動センター 1階小ホール

| No. | 演目      | 題名                           | 出演者                   | 時間  | 予定時刻            |
|-----|---------|------------------------------|-----------------------|-----|-----------------|
| 1   | 合唱      | 日本の四季「春」、「夏の<br>思い出」、「里の秋」、他 | 専科：<br>まちづくりコース       | 15分 | 10:15<br>～10:30 |
| 2   | 寸劇      | 振り込め詐欺防止                     | 専科：<br>郷土を知るコース       | 18分 | 10:33<br>～10:51 |
| 3   | 踊り      | 宮古島エイサー、手話ダ<br>ンス「ゆうやけこやけ」   | 専科：<br>健康づくりコース       | 13分 | 10:54<br>～11:07 |
| 4   | 演武      | 太極拳<br>シルクロード                | 20期：<br>太極拳クラブ        | 15分 | 11:10<br>～11:25 |
| 休 憩 |         |                              |                       |     |                 |
| 5   | オカリナ演奏  | 四季の歌、明日があるさ、<br>他            | 20期：オカリナクラブ<br>「カッコウ」 | 9分  | 14:00<br>～14:09 |
| 6   | 演武      | 太極拳二十四式<br>白鶴の舞              | 専科：<br>太極拳クラブ         | 12分 | 14:12<br>～14:24 |
| 7   | 社交ダンス   | チャチャチャ、ワルツ                   | 19期：<br>社交ダンスクラブ      | 13分 | 14:27<br>～14:40 |
| 8   | 踊り      | 安来節                          | 20期：<br>スポーツ（テニス）     | 6分  | 14:43<br>～14:49 |
| 9   | 朗読      | なのだ“ソング”、餅屋の<br>禅問答          | 専科：<br>朗読クラブ          | 12分 | 14:52<br>～15:04 |
| 10  | オカリナ演奏  | エーデルワイス他                     | 19期：オカリーナ<br>「あすなろ」   | 16分 | 15:07<br>～15:23 |
| 11  | 合唱、ピンポン | 翔けピンポン大空の彼方<br>へ             | 20期：<br>卓球部           | 18分 | 15:26<br>～15:44 |
| 12  | 演武      | 太極拳陳式、24式<br>遙かなる旅、アジア大会     | 19期：<br>太極拳クラブ        | 13分 | 15:47<br>～16:00 |

● 郷土知るコースの部員も参加

第20回学園祭 専科 - 郷土を知るコース



10月15日 寸劇「振込め詐欺防止」リハーサル風景

10月21日 本番



第20回伊奈学園祭 専科 郷土を知るコース

## 第20回学園祭 展示作品目録 (2)

| 分類         | 種目   | No.           | 題名            | 期       | 科・コース    | 氏名     |
|------------|------|---------------|---------------|---------|----------|--------|
| 絵画         | 水墨   | 66            | 朝顔            | 専科1期    | まちづくりコース | 瀧澤 正高  |
|            |      | 67            | 風景            | "       | "        | 玉置 貞明  |
|            |      | 68            | 竹             | "       | "        | 野川 久   |
|            |      | 69            | 鯉             | "       | "        | 山田 泰子  |
|            | 日本画  | 70            | ほぼえみ          | 20期     | 美術工芸科    | 池田 睦子  |
|            | 色鉛筆画 | 71            | 似顔絵アルバム       | 19期     | 福祉・環境科   | 鮫島 まさ江 |
|            | 素描   | 72            | 石膏デッサン(モリエール) | 19期     | 美術工芸科    | 城戸 一衛  |
| 絵手紙        | 73   | 四国巡礼          | 20期           | 地域創造科   | 山本 美知子   |        |
| 写真         |      | 74            | 未来へ           | 19期     | 福祉・環境科   | 市野つぎ子  |
|            |      | 75            | 喧騒のあと         | "       | ふるさと伝承科  | 河野 勝行  |
|            |      | 76            | やすらぎ          | 20期     | 美術工芸科    | 岡田 安秀  |
|            |      | 77            | 西沢渓谷          | 専科1期    | まちづくりコース | 吉澤 幸男  |
| 書          |      | 78            | 漢詩(唐詩選から)     | 20期     | ふるさと伝承科  | 清水 千鶴子 |
| 文芸         | 俳句   | 79            | 当季雑詠          | 20期     | ふるさと伝承科  | 瀧津 時男  |
|            |      | 80            | ひぐらし          | 専科1期    | 健康づくりコース | 鈴木 暁子  |
|            |      | 81            | 秋風            | "       | 郷土を知るコー  | 梅田 博   |
|            | その他  | 82            | 楽しい学園生活       | 専科1期    | 郷土を知るコー  | 岡村 昭則  |
| 篆刻         |      | 83            | 伝芳万古          | 19期     | 美術工芸科    | 青山 説男  |
| 彫塑         | 塑像   | 84            | 左手            | 20期     | 美術工芸科    | 岸 一也   |
|            |      | 85            | 手             | "       | "        | 北 文雄   |
|            |      | 86            | 手             | "       | "        | 武内 育子  |
|            |      | 87            | 考える手          | "       | "        | 都宮 一充  |
|            |      | 88            | 「あれっ！」        | "       | "        | 長岡 恵美子 |
|            | 彫刻   | 89            | 仏像            | 専科1期    | 健康づくりコース | 野本 達子  |
| 工芸         | 陶芸   | 90            | 楽茶碗           | 19期     | 福祉・環境科   | 深町 登美子 |
|            |      | 91            | 壺             | "       | ふるさと伝承科  | 岩松 壯典  |
|            |      | 92            | からから          | "       | "        | 小野 哲二郎 |
|            |      | 93            | 楽茶碗           | "       | "        | 高橋 哲也  |
|            |      | 94            | ワインクーラー       | "       | "        | 橋本 尚文  |
|            |      | 95            | 茶香炉           | "       | "        | 丸山 悦三郎 |
|            |      | 96            | 楽茶碗           | "       | "        | 鷺見 正二  |
|            |      | 97            | 縄文土器          | "       | 美術工芸科    | 井上 喜久子 |
|            |      | 98            | 花瓶            | "       | "        | 岡野 彰夫  |
|            |      | 99            | 茶碗            | "       | "        | 遠山 知己  |
|            |      | 100           | カップ 皿         | "       | "        | 渡辺 登代子 |
|            |      | 101           | 壺 (生花を生ける)    | "       | 地域創造科    | 榎本 玉江  |
|            |      | 102           | 透かし皿          | "       | "        | 小熊 啓子  |
|            |      | 103           | お皿            | "       | "        | 小林 徳雄  |
|            |      | 104           | 花瓶            | 20期     | 福祉・環境科   | 荒井 博   |
|            |      | 105           | 花瓶            | "       | "        | 遠藤 久徳  |
|            |      | 106           | 花瓶            | "       | "        | 草野 省三  |
|            |      | 107           | 花瓶            | "       | "        | 千喜良 徳栄 |
|            |      | 108           | 花瓶            | "       | "        | 寺井 豊   |
|            |      | 109           | 花瓶            | "       | "        | 福田 光子  |
|            |      | 110           | 花瓶            | "       | "        | 持田 徹   |
|            |      | 111           | 花瓶            | "       | ふるさと伝承科  | 地主 みどり |
|            |      | 112           | 花瓶            | "       | "        | 福田 秀穂  |
|            |      | 113           | 花瓶            | "       | 美術工芸科    | 荒居 裕夫  |
|            |      | 114           | 花瓶            | "       | "        | 原山 千恵子 |
|            |      | 115           | 花瓶            | "       | 地域創造科    | 谷口 明夫  |
|            |      | 116           | 花瓶            | "       | "        | 丹野 英和  |
|            |      | 117           | 花瓶            | "       | "        | 中村 敏和  |
|            |      | 118           | 角皿            | 専科1期    | 健康づくりコース | 伊藤 盛夫  |
|            |      | 119           | 習作1号・輪花鉢      | "       | "        | 村田 真治  |
| 120        | 輪花鉢  | "             | 郷土を知るコー       | 小沢 孝    |          |        |
| 121        | 平皿   | "             | "             | 小林 健一郎  |          |        |
| 122        | 皿    | "             | "             | 齋藤 定男   |          |        |
| 123        | 六角鉢  | "             | "             | 田中 忠    |          |        |
| 124        | 輪花鉢  | "             | まちづくりコース      | 新井 清之   |          |        |
| 125        | 梅小鉢  | "             | "             | 石田 孝彦   |          |        |
| 126        | 梅小鉢  | "             | "             | 山田 宏明   |          |        |
| ブリザーフドフラワー | 127  | 十葉(どくだみ)のしらべ  | 19期           | 地域創造科   | 津々木 良子   |        |
| 手芸         | 128  | きめこみパッチワーク    | 専科1期          | 郷土を知るコー | 中島 和子    |        |
| 能面         | 129  | 狂言面の嘘吹        | 専科1期          | 郷土を知るコー | 齋藤 晃     |        |
| その他        | 130  | 発泡スチロール製グライダー | 20期           | ふるさと伝承科 | 滝 勉      |        |

# 平成21年郷土を知るコース・施設めぐり



H21.6.23 行田市・忍城



H21.6.23 さきたま古墳めぐり



H21.7.7 さいたま市・指扇氷川神社



H21.7.21 さいたま市・県立文書館



H21.9.29 群馬・水澤寺



H21.9.29 群馬・旧富岡製糸場



H21.11.17 川越小江戸めぐり



H21.12.15 川口市・花と緑の振興センター

# 郷土を知るコース新年会

(平成22年1月25日)

4月に入学したと思ったら、あっという間に卒業式が目の前に迫ってきました。

ちょっと振り返ってみますと、昨年は名誉なことに「いきがい大学伊奈学園専科郷土を知るコース」に1期生として入学することができました。そこでの素晴らしい仲間とのあいがあり、私達は楽しいクラス運営をしようと班編成にして親睦を深めたり、学園祭では、全員参加で寸劇「振込め詐欺防止」に取組んだり、「郷土を知るコース」のホームページを賑わしたり、卒業記念文集作成を企画したり、今回の新年会を企画したりするなど、様々な活動に取り組んできました。専科三コースの中では、一番活発に活動を展開してきたのではないのでしょうか。

活発だった昨年の余韻を引き継ぎ、今年の第一歩はクラスの女性オールキャストで新年会を企画し、開会から閉会まで全てを取り仕切ったことです。このような新年会は「伊奈学園」始まって以来の出来ごとではないのでしょうか。新年会の最大の盛り上がりは女性の優しさを込めた、男性10人へのプレゼント抽選会でした。幸運にもプレゼントの数字を引き当て、女性からプレゼントを贈られた男性諸君のうれしき笑顔は、童顔のように輝いていました。笑顔に満ち溢れた和気藹藹の光景は、私達の卒業後のクラス会である「郷土の会」を占めているように見えたのは私だけではないと思います。

これを契機に益々みなさんの友情の絆が深められることを願っています。今回、企画された女性のみなさんに「ありがとう」と一言お礼を申し上げます。(岡村)

新年会酒を飲まずに終わりけり



専科・郷土を知るコースホームページのメールアドレス案内

<http://www.olff.net/sid-ina/index.html>

いきがい大学伊奈学園

学園関連サイト  
ボランティア情報センター  
校友会連絡協  
いきがいの愛の会  
東部地区OB会  
マロニエ蓮田  
伊奈さいたま会  
彩央会

掲示板

「劔岳・点の記」映画鑑賞と「わが登頂」を振り返るNEXUS  
「富国強経」社会から「豊国幸民」へのチェンジ 第2回公開学習でシャント発声方法 荒井義文さんの闘病記  
程農化氏による二胡の演奏も華を添える 東松山学園との交流会で

お知らせ

<http://www.olff.net/ina-senka01/>

ホーム 学園生活(専科) 健康づくりコース ● 郷土を知るコース まちづくりコース  
専科第1期自治会 クラブ活動 専科第1期ホームページ委 専科第1期イナ・ヴォイス委 みんなの広場

いきがい大学伊奈学園一年制課程(専科コース)

<http://www.olff.net/ina-senka01/kyoudo-01/kyoudoka01.htm>

ホーム 学園生活(専科) 健康づくりコース ● 郷土を知るコース まちづくりコース  
専科第1期自治会 クラブ活動 専科第1期ホームページ委 専科第1期イナ・ヴォイス委 みんなの広場

郷土を知るコース

郷土を知るコース授業 県外研修 施設見学



# ホームページ委員活動報告

本年（2009年）5月26日付で伊奈学園専科1期生「郷土知るコースホームページ委員」として天谷範夫、岡村昭則、田中 忠の3名がWeb作成委員に委嘱され、郷土を知るコースの活動の様子をお知らせするホームページ作りに参加してきました。伊奈学園のホームページは2009年4月1日をもって設立された「伊奈いきがいネットクラブ」により運営されています。私たち専科郷土知るコース1期生のH.P Staffは、17期ホームページ委員長の鈴木進さんのご支援をいただきながら、「伊奈いきがいネットクラブ」の一員として全力で学園のニュースや活動状況等の情報を、ご覧になる皆様の目線に添って提供してきました。卒業にあたりこれまでのホームページ掲載実績を報告します。

施設見学 6月23日 行田市郷土博物館とさきたま古墳群（岡村）

7月 7日 指扇氷川神社（岡村）

7月21日 県立歴史と民俗の博物館と埼玉県立文書館（岡村）

11月17日 川越小江戸めぐり（田中・岡田）

12月15日 花と緑の振興センター（田中）

社会見学（県外研修） 9月29日 水澤寺～旧富岡製糸場（岡村）

郷土を知るコース授業

8月 1日 専科「郷土を知るコース」授業風景No.1（岡村）

12月21日 専科「郷土を知るコース」授業風景No.2（岡村）

学園生活 9月15日 救急救命法（岡村）

（専科）11月 2日 県活センター美化活動（田中）

公開学習12月 8日 第二回公開学習（岡村）

学園祭 10月21日22日 専科「郷土を知るコース」参加作品（岡村）

みんなの広場 7月13日 「劔岳・点の記映画鑑賞とわが登頂を振り返る」（岡村）

10月 9日 彩の国いきがい大学校友会連絡協議会主催

平成21年度社交ダンスの集いに参加（岡村）

11月 8日 「彩の国・浮きウキフェスタ」浮島づくり（田中）

11月17日 歴史と文化が香る街・川越の歴史を学ぶ（岡村）

12月23日 けんかつ「スポーツ天国」支援（田中）

クラブ活動 グラウンドゴルフ（岡村）

卓球クラブ（熊倉）

太極拳クラブ（森田）

陶芸クラブ（小沢）

パソコンクラブ（野村）

中山道ウォーク（天谷）

ホームページ作成講習会 第1回 8月12日、19日、20日

専科のみ補講 12月9日、10日

第二回 12月18日、22日

# イナ・ヴォイス運営委員活動報告

6月1日イナ・ヴォイスの意義について17期地域創造科 鈴木進さんから講義を受けた。4/20のオリエンテーションの時に、「ボランティア活動」を支援する「イナ・ヴォイス」について、ボランティア活動を「したい側」と「必要とする側」を円滑にコーディネートする仕組みであると卒業生から説明を受けたが内容がはっきりせず、役員の選出もままならず、「じゃんけん」や「くじ引き」で役員を決めたりした。

今日は先輩の鈴木さんがプロジェクターを使って、事細かに「イナ・ヴォイス」について説明してくれた。ボランティア活動を系統的にわかりやすく一覧表を作ってくれたことには頭がさがるが、積極的にボランティア活動をやろうとする人は別にして、ボランティア活動が定着していない日本では、こと細かく紹介されてしまうと、圧迫感が強くなってボランティア活動への足が遠のいてしまうのではと杞憂してしまう。

在学中(21年度6月から3月)いきがい大学伊奈学園ボランティア情報センター(略称イナ・ヴォイス)在校生運営委員に「郷土を知るコース」として、**斎藤定男さんと吉野利美子さん**が選出された。イナ・ヴォイス運営委員と協働して、卒業生・在校生のボランティア活動や自身で実施するボランティア活動などの情報を収集し、クラスメートにその情報を提供するのが主な任務。しかし、この1年間を振り返っても、いきがい大学伊奈学園ボランティア情報センターとの結び付きが理解されないこともあってか、活動らしい活動はしてこなかったと言える。しかし、この2月5日に第1回いきがい大学伊奈学園ボランティア活動発表会が開かれることになった。

## - イナヴォイス フェスティバル開催のご案内 -

平素はイナ・ヴォイスの活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記について、この1年間、イナ・ヴォイス登録団体・個人の皆様と協働体制を図るべく、実施時期・場所・実施要領等について検討を重ねて参りましたが、下記のとおり、財団法人「長寿社会開発センター」の明るい長寿社会、高齢者の生きがいづくり、社会貢献活動の推進事業に呼応した「第1回いきがい大学伊奈学園ボランティア活動発表会」を開催することにいたしました。

地域で積極的に活動する各団体等の活動事例発表により、必ずや地域課題や現代課題解決の糸口を提供してくれることと思います。つきましては多くの皆様のご来場をお待ちしております。

記

1.日時: 平成22年2月5日(金)12:45~16:30

2.場所: 県民活動センター小ホール

3.概要:

県内主要5地域の登録団体のほか、イナ・ヴォイス登録の団体・個人のボランティアの事例発表会

(8活動団体)

フェスティバル参加者は、校友会会員、在校生、イナ・ヴォイス各登録団体とその活動対象者ほか

来賓として、いきいき埼玉、県連協会長、伊奈学園所長をお願いする予定。

本フェスティバルを継続実施することによりノウハウを積み上げて、将来関係財団の全国地域活動推進大会に出場することを期するとともに、近隣のいきがい大学関係者へ水平展開を図る。

# 専科第一期郷土を知るコース・メールアドレス

| 名前    | パソコンメールアドレス  | 携帯? メールアドレス | F A X |
|-------|--|-------------|-------|
| 相場恒夫  |  |             |       |
| 浅見法子  | <p>郷土を知るコースでは、卒業後連絡網としてパソコンメール交換を中心に行います。<br/>           また、校友会広報紙（行事用お知らせ中心）もパソコンメール・携帯メールを中心に配布を行う予定にしているため、クラスメートのメールアドレスを作成しました。<br/>           プライバシーの保護からここではカットしています。</p> |             |       |
| 天谷範夫  |  |             |       |
| 有村 弘  |  |             |       |
| 安藤允浩  |  |             |       |
| 伊藤昭子  |  |             |       |
| 今村信博  |  |             |       |
| 岩松忠子  |  |             |       |
| 梅田 博  |  |             |       |
| 遠藤喜衛  |  |             |       |
| 大阿久聖一 |  |             |       |
| 大井昭子  |  |             |       |
| 岡田時雄  |  |             |       |
| 岡村昭則  |  |             |       |
| 小沢 孝  |  |             |       |
| 川邊治郎  |  |             |       |
| 北氏和雄  |  |             |       |
| 熊倉 晃  |  |             |       |
| 五反田籠子 |  |             |       |
| 小林久美子 |  |             |       |
| 小林健一郎 |  |             |       |
| 斎藤 晃  |  |             |       |
| 斎藤定男  |  |             |       |
| 島田道夫  |  |             |       |
| 菅原昭夫  |  |             |       |
| 瀬戸川公子 |  |             |       |
| 高橋俊寿  |  |             |       |
| 田中 忠  |  |             |       |
| 長澤輝子  |  |             |       |
| 中島和子  |  |             |       |
| 野村侃滋  |  |             |       |
| 橋本 進  |  |             |       |
| 本郷稔夫  |  |             |       |
| 松野吉光  |  |             |       |
| 宮島昭夫  |  |             |       |
| 森田啓資  |  |             |       |
| 八千代幸男 |  |             |       |
| 吉田秀雄  |  |             |       |
| 吉野利美子 |  |             |       |

## 郷土知るコースの役員名簿

### 郷土を知るコース役員

- ・科長 齊藤 晃、・副科長 岡田時雄
- ・班長 1班 安藤允浩、2班 岡田時雄、3班 齊藤定男、4班 菅原昭夫  
5班 本郷稔夫

### 自治会役員

- ・副会長 齊藤 晃、・会計 岡田時雄、・監事 浅見法子
- ・イナボイス委員 齊藤定男、吉野利美子、
- ・ホームページ委員 天谷範夫、岡村昭則、田中 忠

### クラブ役員

- ・卓球クラブ 部長 熊倉 晃、 会計 有村 弘
- ・太極拳クラブ 部長 森田啓資、 副部長 小林久美子、 会計 中島和子
- ・陶芸クラブ 部長 小沢 孝、 副部長 小林健一郎
- ・パソコンクラブ部長 野村侃滋
- ・囲碁クラブ 幹事 宮島昭夫
- ・グラウンドゴルフ 庶務 岡村昭則
- ・朗読クラブ 副部長 梅田 博
- ・中山道ウォークお世話役 天谷範夫、相場恒夫、有村 弘

### 第20回いきがい大学伊奈学園・学園祭実行委員会役員

- ・副事務局長 齊藤 晃
- ・総務部副部長 安藤允浩、受付・接待委員 伊藤昭子、大井昭子  
会場委員 相場恒夫、有村 弘
- ・広報部副部長 野村侃滋、委員 高橋俊寿
- ・展示部 委員 大阿久聖一、小林健一郎
- ・バザー部 委員 浅見法子、岩松忠子、瀬戸川公子、長澤輝子、中島和子
- ・記録部 写真班委員 岡村昭則、北氏和雄  
誘導班委員 梅田 博、川邊治郎、橋本 進  
総務班委員 五反田龍子、小林久美子

専科郷土知るコース運営にあたって先頭に立って支えていただいた役員のみなさん、心より感謝申し上げます。

### 「郷土を知るコース」平成22年度専科第一期校友会役員の方々をご紹介します。

- 専科第一期校友会理事 相場恒夫、大阿久聖一、北氏和雄、田中 忠、松野吉光
- 専科第一期校友会 イナ・ヴォイス委員 有村 弘、吉野利美子
- 専科第一期校友会 ホームページ委員 天谷範夫、岡村昭則、田中 忠
- 専科第一期校友会監事 齊藤 晃

これから校友会を支えていただく役員のみなさん、よろしく申し上げます。

## 編集後記

早いもので4月の入学式から11ヶ月が経ち、残すところあと僅かで卒業式を迎えます。振り返ってみますと、いきがい大学伊奈学園一年制課程・専科コース「郷土を知るコース」第一期生として入学を許された39人ですが、自治会、クラブ活動や班活動を通して、相互の親睦も深まり、仲間意識が強くなったと感じているのは私だけでしょうか。

その先導役となって尽力を頂いた斎藤晃科長とメンバーの顔写真の作成を始め、学園祭の企画・運営を担当してくれた岡村さんに深く感謝しています。お陰さまで、全員で取組んだ学園祭の参加作品「振込め詐欺防止」寸劇は郷土知るコースの一番の思い出になったのではなかったのでしょうか。また、歴史を知るに相応しい県内外の施設を見学して少しは見聞も広がったことでしょう。

また、卒業にあたって各自が伊奈学園で学んだことや、楽しかった思い出等を踏み跡として残すための文集作成を岡村さんにご提案いただき、そして全員の方に快く原稿を書いていただき感謝しています。皆様の文章を拝読しますと伊奈学園で学ぶ喜びに溢れており、私までもが楽しい気分になります。また、皆様の高齢者らしからぬ若さに圧倒されます。

本日、皆様にこの卒業文集をお届けできますことは、文集作成に携わった者、全員のこの上ない喜びです。文集を皆様が伊奈学園で学んだ思い出として、心の本箱に格納し、未永く愛読していただけることを願ってやみません。

郷土知るコース副科長 岡田時雄

### 卒業記念文集作成担当者

|      |      |       |       |      |      |      |
|------|------|-------|-------|------|------|------|
| 科長   | 斎藤 晃 |       |       |      |      |      |
| 副科長  | 岡田時雄 |       |       |      |      |      |
| 班長   | 1班   | 安藤允浩、 | 2班    | 岡田時雄 | 3班   | 斎藤定男 |
|      |      | 4班    | 菅原昭夫、 | 5班   | 本郷稔夫 |      |
| 文集担当 | 1班   | 伊藤昭子  | 2班    | 岡村昭則 | 3班   | 熊倉 晃 |
|      |      | 4班    | 野村侃滋  | 5班   | 宮島昭夫 |      |

# 伊奈学園校歌

作詞 伊奈学園第一期生  
作曲 藤田久

- 一 青空高き 武蔵野の  
育む大地 暖かく  
真の心 究めんと  
学ぶ姿の 逞しく  
集う我らの 伊奈学園
- 二 学びの道に 美を求め  
互いに励む 時重ね  
同志と手と手 取り合って  
希望の道を 歩みゆく  
磨く我らの 伊奈学園
- 三 笑顔で友と 語り合い  
出合いをいつも 大切に  
絆は強く いつまでも  
未来に大きな 夢のせて  
拓く我らの 伊奈学園

## 伊奈学園

住所 〒362-0801  
伊奈町小針内宿1600  
県民活動総合センター内

電話 048-728-2299  
(伊奈学園直通)

- 交通
- ① JR 大宮駅からニューシャトルで内宿駅下車、徒歩約15分。内宿駅から県民活動総合センター行き無料送迎バス有り。※全ての列車に接続するわけではありません。
  - ② JR 高崎線上尾駅東口から伊奈学園<sup>①</sup>行きバスで終点下車、徒歩約7分。  
(注)伊奈学園総合高校

